

CA ARCserve® Backup Patch Manager for Windows

ユーザガイド

r16



このドキュメント(組み込みヘルプ システムおよび電子的に配布される資料を含む、以下「本ドキュメント」)は、お客様への情報提供のみを目的としたもので、日本 CA 株式会社(以下「CA」)により随時、変更または撤回されることがあります。

CA の事前の書面による承諾を受けずに本ドキュメントの全部または一部を複製、譲渡、開示、変更、複本することはできません。本ドキュメントは、CA が知的財産権を有する機密情報です。ユーザは本ドキュメントを開示したり、(i)本ドキュメントが関係する CA ソフトウェアの使用について CA とユーザとの間で別途締結される契約または (ii) CA とユーザとの間で別途締結される機密保持契約により許可された目的以外に、本ドキュメントを使用することはできません。

上記にかかわらず、本ドキュメントで言及されている CA ソフトウェア製品のライセンスを受けたユーザは、社内でユーザおよび従業員が使用する場合に限り、当該ソフトウェアに関連する本ドキュメントのコピーを妥当な部数だけ作成できます。ただし CA のすべての著作権表示およびその説明を当該複製に添付することを条件とします。

本ドキュメントを印刷するまたはコピーを作成する上記の権利は、当該ソフトウェアのライセンスが完全に有効となっている期間内に限定されます。いかなる理由であれ、上記のライセンスが終了した場合には、お客様は本ドキュメントの全部または一部と、それらを複製したコピーのすべてを破棄したことを、CA に文書で証明する責任を負います。

準拠法により認められる限り、CA は本ドキュメントを現状有姿のまま提供し、商品性、特定の使用目的に対する適合性、他者の権利に対して侵害のないことについて、黙示の保証も含めいかなる保証もしません。また、本ドキュメントの使用に起因して、逸失利益、投資損失、業務の中断、営業権の喪失、情報の喪失等、いかなる損害(直接損害か間接損害かを問いません)が発生しても、CA はお客様または第三者に対し責任を負いません。CA がかかる損害の発生の可能性について事前に明示に通告されていた場合も同様とします。

本ドキュメントで参照されているすべてのソフトウェア製品の使用には、該当するライセンス契約が適用され、当該ライセンス契約はこの通知の条件によっていかなる変更も行われません。

本ドキュメントの制作者は CA です。

「制限された権利」のもとでの提供:アメリカ合衆国政府が使用、複製、開示する場合は、FAR Sections 12.212、52.227-14 及び 52.227-19(c)(1)及び(2)、ならびに DFARS Section 252.227-7014(b)(3) または、これらの後継の条項に規定される該当する制限に従うものとします。

Copyright © 2011 CA. All rights reserved. 本書に記載された全ての製品名、サービス名、商号およびロゴは各社のそれぞれの商標またはサービスマークです。

CA Technologies 製品リファレンス

このマニュアルが参照している CA Technologies の製品は以下のとおりです。

- CA ARCserve® Backup for Windows

CA への連絡先

テクニカル サポートの詳細については、弊社テクニカル サポートの Web サイト (<http://www.ca.com/jp/support/>) をご覧ください。

目次

第 1 章: CA ARCserve Backup Patch Manager について	9
概要	9
CA ARCserve Backup Patch Manager のコンポーネント	11
Patch Manager GUI	12
Patch Manager Service	12
CA ARCserve Backup Patch Manager のガイドライン	13
CA ARCserve Backup Patch Manager の動作	15
利用可能なパッチのチェック	17
パッチのダウンロード	20
パッチのインストール	23
パッチのインポート	25
パッチのアンインストール	26
電子メール通知	27
レポートの生成	28
第 2 章: CA ARCserve Backup Patch Manager のインストール	29
インストールの前提条件	29
CA ARCserve Backup Patch Manager のインストール	30
[ローカル インストール]	31
[リモート インストール]	32
サイレント インストール レスポンス ファイルの作成	33
インストール オプション	33
サーバの種類を選択	34
更新オプションを選択	37
電子メール通知オプションを選択	39
プロキシ オプションを選択	40
リモート インストールを実行するコンピュータの選択	42
Unicenter Software Delivery を使用した CA ARCserve Backup Patch Manager のインストール	44
インストール後	45
CA ARCserve Backup Patch Manager のアンインストール	46

第 3 章: GUI による CA ARCserve Backup Patch Manager の使用	47
CA ARCserve Backup Patch Manager GUI について	48
[環境設定]ダイアログについて	57
[環境設定]の[一般設定]について.....	57
[環境設定]の[電子メール設定]について.....	61
[環境設定]の[プロキシ設定]について	62
利用可能なパッチの手動によるチェック	64
手動によるパッチのダウンロード	66
手動によるパッチのインストール	70
手動によるパッチのアンインストール	73
パッチの自動ダウンロードおよびインストール	76
第 4 章: CA ARCserve Backup Patch Manager のトラブルシューティング	79
トラブルシューティングの概要	79
Patch Manager のトラブルシューティング	80
用語集	89
索引	93

マニュアルの変更点

本マニュアルでは、前回のリリース以降に、以下の点を更新しています。

- CA Technologies へのブランド変更
- 製品およびドキュメント自体の利便性と理解の向上に役立つことを目的として、ユーザのフィードバック、拡張機能、修正、その他小規模な変更を反映するために更新されました。

第 1 章: CA ARCserve Backup Patch Manager について

このセクションには、以下のトピックが含まれています。

[概要 \(P. 9\)](#)

[CA ARCserve Backup Patch Manager のコンポーネント \(P. 11\)](#)

[CA ARCserve Backup Patch Manager のガイドライン \(P. 13\)](#)

[CA ARCserve Backup Patch Manager の動作 \(P. 15\)](#)

概要

CA Technologies では、パッチを使用して、改良された製品 (発行済みパッチ) をユーザに提供します。パッチは、バグの修正、新たなハードウェア サポートの提供、およびパフォーマンスとセキュリティの向上のために使用されます (サービスパックのリリースを CA ARCserve Backup Patch Manager によって取得することはできません)。

これまで、CA ARCserve Backup ユーザは、パッチがリリースされると、それを手動でダウンロードして適用する必要がありました。また、修正やパッチがリリースされていないかどうかを確認するために、頻繁に CA Technologies サポートの Web サイトにアクセスする必要がありました。このような作業が、CA ARCserve Backup Patch Manager によって簡略化されます。高速かつ容易で信頼性の高いソリューションにより、インストールされた CA ARCserve Backup に最新のパッチと更新が自動的に適用され、常に最新の状態が保たれます。CA ARCserve Backup Patch Manager は、Windows 上で動作する CA ARCserve Backup (およびエージェント) と CA Technologies を結ぶリンクであり、インストール済みの CA ARCserve Backup を自動更新したいすべてのマシンにインストールする必要があります。

CA ARCserve Backup Patch Manager には、以下の機能が用意されています。

- 利用可能なすべての新しいパッチをチェックする機能
- ダウンロード、インストール、およびアンインストールの実行時に、重要なパッチの自動チェック、および選択したパッチの依存ルールの判別をする機能

- 自動的に(重要なパッチのみ)または手動で利用可能なパッチのダウンロードとインストールをトリガする機能
- パッチを自動的にダウンロードおよびインストールするためのカスタムスケジュールを指定する機能(重要なパッチに対してのみ)
- 新しいパッチが利用可能になったとき、ダウンロードされたとき、および/またはインストールされたときに、電子メール通知を自動送信する機能(設定している場合)
- **CA ARCserve Backup** の現在の状態(インストール済みのパッチ)や、サーバへのダウンロード、インストール、およびアンインストールを実行したパッチ履歴を表示するレポートの生成機能。総合的なレポート機能によって、各種レポートの利用が容易になるため、すべてのマシン上のパッチのステータス把握に役立ちます。
- 特定のパッチについてのツールヒント情報を表示する機能(パッチのダウンロード日、インストール日、パッチタイプなど)
- 動作が速くて見やすい情報ペインに[アラートおよびメッセージ]を表示する機能。この[アラートおよびメッセージ]ペインには、最新の更新チェック日時、新しいパッチの数などの情報が表示されます。重要なパッチ、セキュリティの更新、デバイスパッチなどのパッチの種類も表示されます。
- **CA Technologies** サポートの Web サイトで発行されたパッチの **Readme** を表示する機能。特定のパッチに関する詳しい説明や追加情報については、テクニカルサポート(<http://www.ca.com/jp/support/>)にアクセスし、オンラインの技術サポートを利用してください。
- **Patch Manager** サービスのステータスを GUI で表示する機能
- クライアントとステージングサーバから **CA Technologies** のテクニカルサポートに(直接またはプロキシサーバ経由で)接続するように設定する機能
- インターネットのアクセスを制限したデータセンター用としてステージングサーバを使用する機能
- ステージングサーバとして展開された **CA ARCserve Backup Patch Manager** が既存の別のステージングサーバを参照する機能
- プロキシサーバを使用する機能

- (必要に応じて)パッチを手動でアンインストールする機能
- 自己パッチが利用可能になったとき、CA ARCserve Backup Patch Manager が自己更新を実行する機能

注: CA ARCserve Backup Patch Manager 自身のパッチは[製品]ドロップダウンメニューや[パッチの更新]ペインには表示されません。これらの自己パッチは常に重要なパッチとみなされ、すべてのアクション(更新の確認、ダウンロード、インストール)はスケジュールされたとおりに自動的に実行されます。

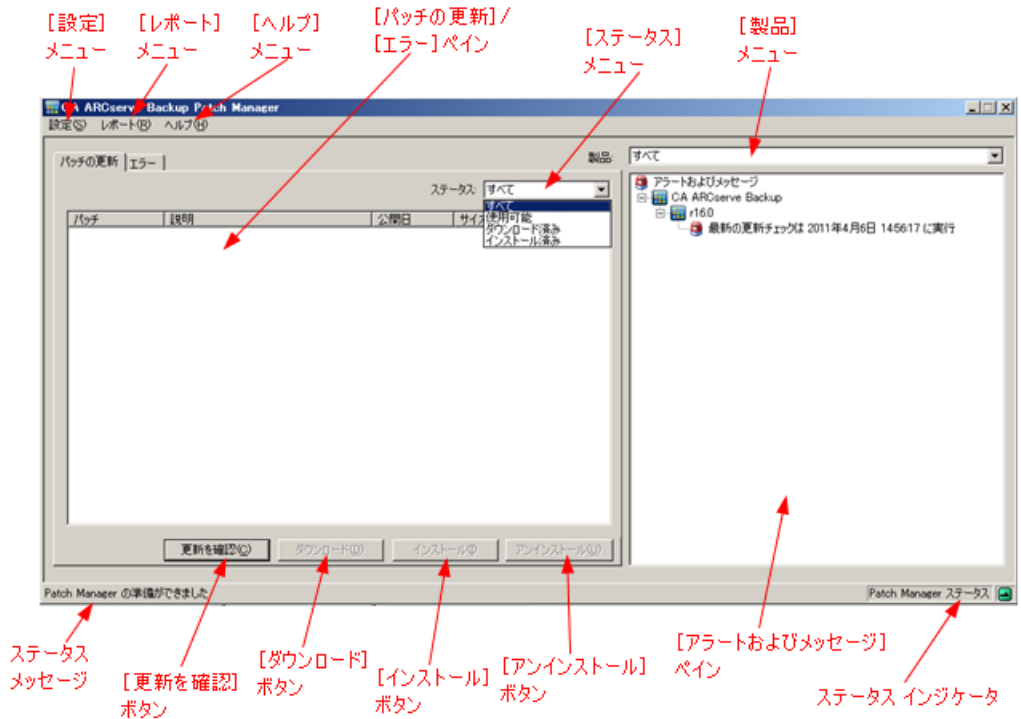
CA ARCserve Backup Patch Manager のコンポーネント

CA ARCserve Backup Patch Manager は以下のコンポーネントから構成されます。

- [Patch Manager GUI](#) (P. 12)
- [Patch Manager Service](#) (P. 12)

Patch Manager GUI

Patch Manager GUI (Graphical User Interface) を使用して、パッチのダウンロードとインストールの設定およびスケジュールの管理をすることができます。Patch Manager GUI では、利用可能、ダウンロード済み、およびインストール済みの発行済みパッチのリストが表示され、ステータスが示されます。詳細については、[「CA ARCserve Backup Patch Manager GUI について」](#) (P. 48) を参照してください。



Patch Manager Service

Patch Manager Service (CA ARCserve Backup Patch Manager Service) は、Patch Manager のコア エンジンで、GUI や Patch Scheduler からリクエストされたパッチのダウンロードやインストールを実行します。また、電子メール通知の送信も実行します。Patch Scheduler は Patch Manager Service に不可欠な構成要素です。Patch Scheduler は、スケジュールされた時刻に起動し、利用可能なパッチの自動チェックや自動ダウンロード/インストールをトリガします。

CA ARCserve Backup Patch Manager のガイドライン

Patch Manager のガイドラインを以下に示します。

- CA ARCserve Backup 環境内で、CA ARCserve Backup コンポーネントがインストールされているマシンに、Patch Manager をインストールできます (CA ARCserve Backup が実行されているシステムだけでなく、Windows ベースのエージェントが実行されているシステムにも、Patch Manager をインストールできます)。

たとえば、1 つの CA ARCserve Backup ドメインには CA ARCserve Backup をインストールしたマシンやサーバを複数配置できますが、そのすべてに Patch Manager を個別にインストールできます。

- ステージング サーバは CA ARCserve Backup がインストールされているサーバにインストールする必要はありません。

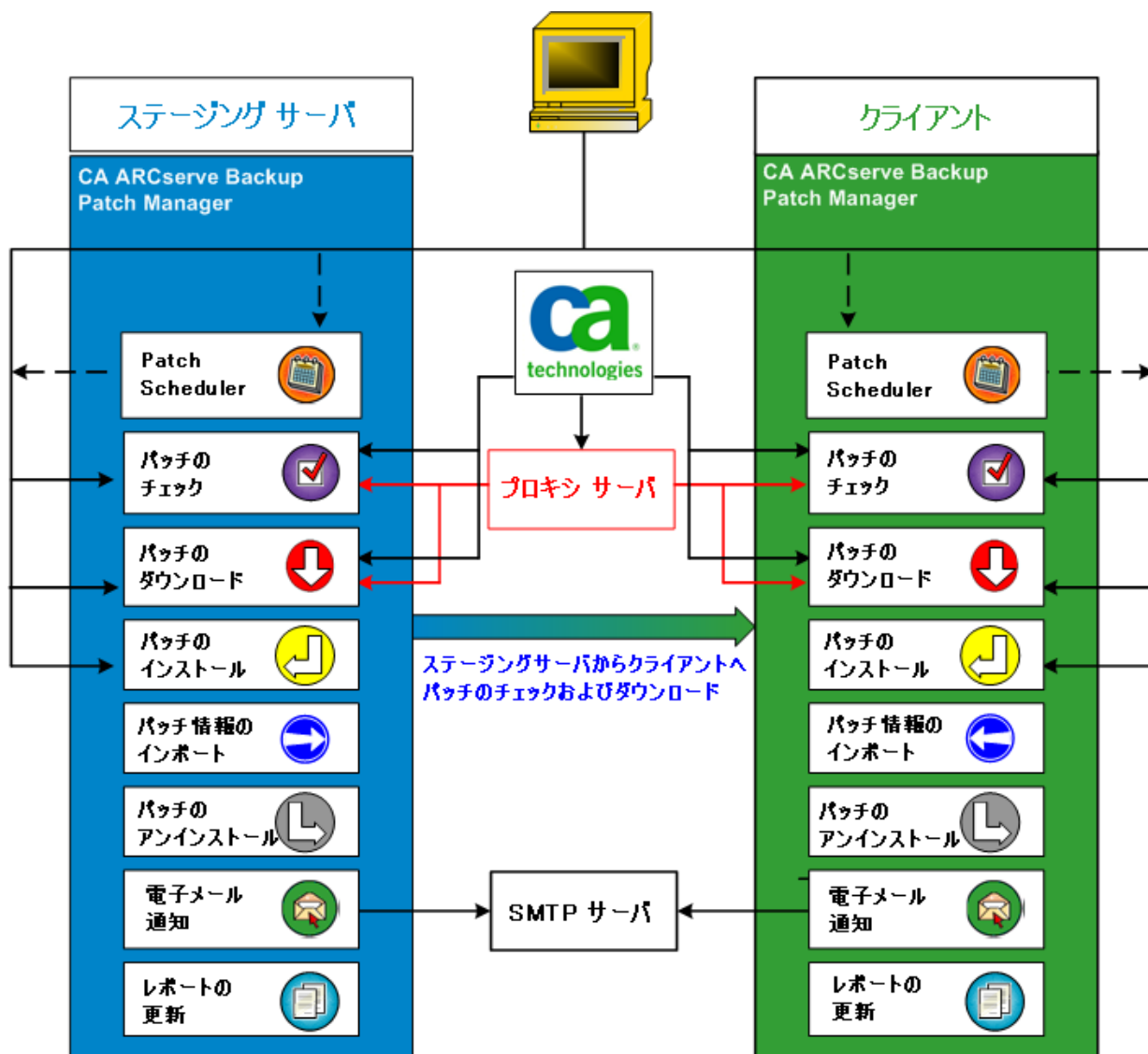
注: ステージング サーバは、ダウンロードしたパッチを、CA ARCserve Backup クライアントにインストールする前に一時的に保存する場所として使用するサーバです。

- クライアントは、CA ARCserve Backup コンポーネントがインストールされているマシン上にインストールする必要があります。
- (手動でまたは自動的に)パッチをダウンロードおよびインストールする場合は、必ず CA ARCserve Backup コンポーネントが動作するマシンに Patch Manager クライアントをインストールしてください。
- Patch Manager の各インストールについて、パッチを、ローカルのステージング サーバから取得するのか、または、直接 CA Technologies のテクニカルサポートの Web サイトから取得するのかを設定する必要があります。
- 自動的なパッチのダウンロードおよびインストールは、重要なパッチに対してのみ適用されます。✳
- ほかのクライアントがステージング サーバと通信し、パッチをダウンロード/インストールできるように、ローカルのステージング サーバでは HTTP を有効にする必要があります。
- 設定によって、Patch Manager がプロキシサーバ経由で利用可能なパッチを取得するようにできます。
- ダウンロードするパッチを手動で選択した場合、その依存パッチも選択されてダウンロードされます (ただし、依存関係にかかわらず、どのパッチをダウンロードするかは選択できます)。スケジュールされたリクエストの場合、利用可能な新しいパッチがすべてダウンロードされます。この場合、パッチの依存関係はチェックされません。

- パッチは、そのすべての依存パッチが正常にインストールされている場合のみ、インストールできます。
- パッチをアンインストールする前に、Patch Manager はインストールされている依存パッチをチェックします。
 - パッチは、その依存パッチがすでにアンインストールされている場合のみ、アンインストールできます。
 - パッチをアンインストールできるのは、そのパッチが、インストールされている別のパッチの前提条件パッチでない場合のみです。

CA ARCserve Backup Patch Manager の動作

CA ARCserve Backup Patch Manager を使用すると、利用可能なパッチを収集、分析、ダウンロード、およびインストールするプロセスを自動化することによって、CA ARCserve Backup のパッチや更新を事前に管理できます。



サーバに CA ARCserve Backup がインストールされていることが確認されると、CA ARCserve Backup Patch Manager は、そのインストールをスキャンし、どのパッチがインストール済みかを確認して、利用可能な更新と比較します（利用可能な更新のチェックは、製品のリリースに応じて選別される場合があります）。パッチのダウンロードとインストールを、手動でトリガするか（すべてのタイプのパッチ）、スケジュールを設定して自動的に実行するか（重要なパッチのみ）を選択できます。

ステージング サーバは、ダウンロードしたパッチを CA ARCserve Backup クライアントにインストールする前に、一時的に保存する場所として使用できます。CA Technologies サーバからパッチをダウンロードするために、すべての実稼働サーバをインターネットに接続することが望ましくないと考えられる場合もあります。この場合、最初にローカルのステージング サーバにパッチをダウンロードし、次に、そのローカルのステージング サーバから他の実稼働サーバにパッチをダウンロードすることが可能です。CA ARCserve Backup Patch Manager をインターネットに接続したサーバにインストールし、そのサーバにパッチをダウンロードします。次に、CA ARCserve Backup がインストールされている実稼働サーバに CA ARCserve Backup Patch Manager をインストールし、このローカルのステージングサーバからパッチをダウンロードしてインストールすることが可能です。

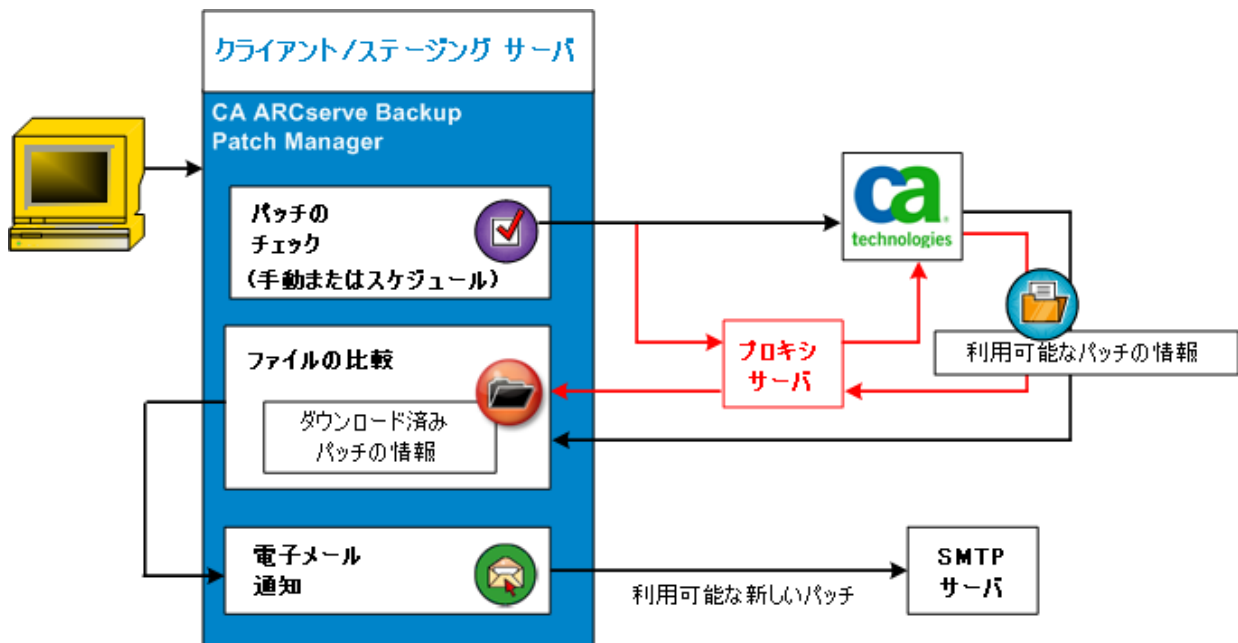
CA ARCserve Backup Patch Manager には、以下の機能が用意されています。

- 利用可能なパッチのチェック（手動またはスケジュール設定による）
- CA Technologies からの利用可能なパッチのダウンロード（直接クライアントに、またはステージング サーバに）
- 正常にダウンロードされたパッチのインストール。インストール プロセスは、パッチがマシン（ステージング サーバまたはクライアント）にダウンロードされた後、開始します。
- 新しいパッチが利用可能なとき、パッチのダウンロードが実行されたとき、パッチのインストールが実行されたときなどのイベント時の電子メール通知の送信
- 現在のステータスおよびインストール済み/アンインストール済みパッチの履歴に関するレポートの生成
- パッチの依存関係のチェック
- パッチのアンインストール（必要に応じて）

利用可能なパッチのチェック

CA ARCserve Backup Patch Manager には、利用可能な新しい CA ARCserve Backup のパッチや更新を、直接 CA Technologies から、または(設定に応じて)プロキシサーバ経由で、チェックする機能があります。この利用可能なパッチのチェック機能は、ユーザ インターフェース(GUI)から手動で、または Patch Scheduler で指定したとおりに自動的にトリガできます。

トリガされた CA ARCserve Backup Patch Manager は、CA Technologies サポートに接続し、利用可能なパッチの情報が含まれたファイルを確認します。この利用可能なパッチ情報のファイルが、前回の確認以降に変更されていると判断すると、比較のためにサイトからファイルをダウンロードします。その後、この利用可能なパッチの情報が、ダウンロード済みパッチ情報が含まれた別のファイルと比較され、どの利用可能なパッチが新しく、ダウンロードおよび正常にインストールされていないかが判断されます。



- CA ARCserve Backup Patch Manager は、パッチがまだダウンロードされていないと判断すると、そのパッチに利用可能なパッチのタグを付けます。
- CA ARCserve Backup Patch Manager は、パッチがすでに正しいチェックサム値とファイル名で正常にダウンロードされていると判断すると、物理的な場所にそのパッチが存在するかどうかを確認します。
 - 物理的なファイルが存在せず、インストールされていない場合、そのパッチに利用可能なパッチのタグを付けます。
 - パッチ ファイルがパッチ リポジトリに (正しいチェックサム、デジタル署名、およびファイル名で) 存在する場合、既存のステータス (ダウンロード済み) をそのまま維持します。
 - パッチ ファイルは存在しても、ダウンロード済みパッチの情報 (ファイル名およびチェックサム値) が利用可能なパッチの情報と一致しない場合、そのパッチに利用可能なパッチのタグを付けます。
- 新しい更新が利用可能になると、電子メール通知が送信されます (設定している場合)。

ユーザが開始するパッチ更新チェック プロセス

利用可能なパッチのチェックを自分で開始することを (チェックのスケジュールを指定するのではなく) 選択した場合、このタスクのプロセスは以下のとおりです。

1. チェックする製品 (CA ARCserve Backup) を選択します。
2. 選択した製品の [更新を確認] ボタンをクリックします。

利用可能なパッチの情報が CA Technologies サポートからクライアントまたはステージング サーバにダウンロードされます (変更があった場合)。

3. 利用可能なパッチの情報が、ダウンロード済みパッチの情報が記録されている、ローカルのファイルと比較されます。

選択した製品の利用可能なすべての CA ARCserve Backup パッチのリストが表示されます。

4. 新しい CA ARCserve Backup のパッチがダウンロード可能になると、電子メール通知が送信されます (設定している場合)。

スケジュールされたパッチ更新チェックプロセス

利用可能なパッチの自動チェックをスケジュールすることを(ユーザが開始するチェックを指定するのではなく)選択した場合、このタスクのプロセスは以下のとおりです。

1. CA ARCserve Backup Patch Manager は、設定した自動チェックの時刻に基づいて、利用可能なパッチのチェックを開始するように Patch Scheduler をトリガします。

利用可能なパッチの情報が CA Technologies サポートからクライアントまたはステージング サーバにダウンロードされます(変更があった場合)。

2. 利用可能なパッチの情報が、ダウンロード済みパッチとインストール済みパッチの情報が記録されている、ローカルのファイルと比較されます。

選択した製品の利用可能なすべての CA ARCserve Backup パッチのリストが表示されます。

3. 新しい CA ARCserve Backup のパッチがダウンロード可能になると、電子メール通知が送信されます(設定している場合)。

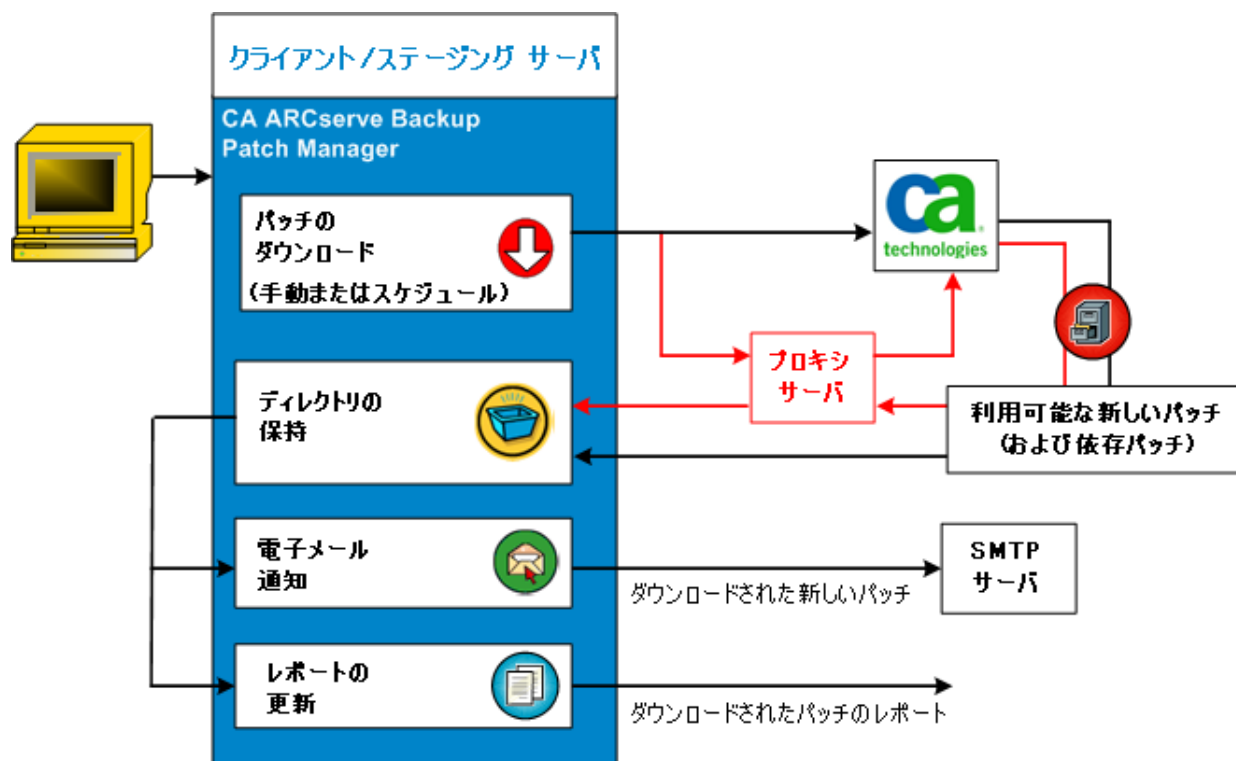
パッチのダウンロード

CA ARCserve Backup Patch Manager では、利用可能なパッチおよび更新を、CA Technologies サポート サーバ (HTTP 経由) から直接ダウンロードするか、または CA Technologies サポート サーバに接続するよう設定されたローカルのステージング サーバからダウンロードできます。このパッチのダウンロード機能は、ユーザ インターフェイス (GUI) から、または Patch Scheduler で指定して自動的に (重要なパッチのみ)、トリガできます。

注: Patch Manager にリスト表示された特定の CA ARCserve Backup パッチの追加情報を取得したい場合は、テクニカル サポート (<http://www.ca.com/jp/support/>) を参照してください。

トリガされた CA ARCserve Backup Patch Manager は、CA Technologies サポート に接続し、利用可能なパッチを (利用可能な依存パッチと共に) ダウンロードして、保持ディレクトリ (ステージング サーバ上またはクライアント上) に保存します。パッチはインストールプロセスの次の段階に進む指示が出るまで、ここに保存されます (ダウンロードされたパッチがインストール後に削除されることはありません)。また、CA ARCserve Backup Patch Manager は、ダウンロード済みパッチ情報レポートに最新のステータスを反映させます。

新しいパッチがダウンロードされたことを知らせる電子メール通知が送信されず (設定している場合)。



パッチのダウンロードプロセス

利用可能なパッチのダウンロードを手動で開始した場合も、自動ダウンロードをスケジュールした場合も、このタスクのプロセスは以下のように行われます。

重要: パッチの自動ダウンロード/インストールにスケジュール日時を指定する際、スケジュールがほかのアクティブなスケジュール済み CA ARCserve Backup ジョブ (バックアップ、リストア、スキャン、マージ、テープコピーなど) と同時に実行されたり競合したりしないようにしてください。パッチによっては、そのインストールが原因で、CA ARCserve Backup Services がシャットダウンされる場合や、ジョブが中断される場合があります。

注: パッチの自動ダウンロードおよびインストールは、CA ARCserve Backup の重要なパッチに対してのみ適用されます。

1. プロセスがトリガされると、利用可能な新しいパッチ (と依存パッチ) が、直接 CA Technologies サポート サイトから、または (設定した) プロキシ サーバ経由で、保持ディレクトリにダウンロードされます。

デフォルトでは次のフォルダにパッチがダウンロードされます: `X:\Program Files\CA\SharedComponents\capm`

注: 保持ディレクトリの空き容量がなくなると、利用可能なディスク容量がないことを表すステータスが [エラー] タブに表示され、この状態を知らせます。

2. 新しい CA ARCserve Backup のパッチがダウンロードされると、電子メール通知が送信されます (設定している場合)。
3. レポート タスクが起動され、最新のステータスを反映したパッチのダウンロードレポートが生成されます。

パッチのインストール

CA ARCserve Backup Patch Manager には、正常にダウンロードされた利用可能なパッチや更新をインストールする機能があります。このインストール機能は、ユーザ インターフェース(GUI)から、または Patch Scheduler で指定して自動的に(重要なパッチのみ)、トリガできます。CA ARCserve Backup Patch Manager のパッチは、GUI に表示されません。これらの自己パッチは、常に重要なパッチと見なされ、スケジュールされたとおりに自動的にインストールされます。

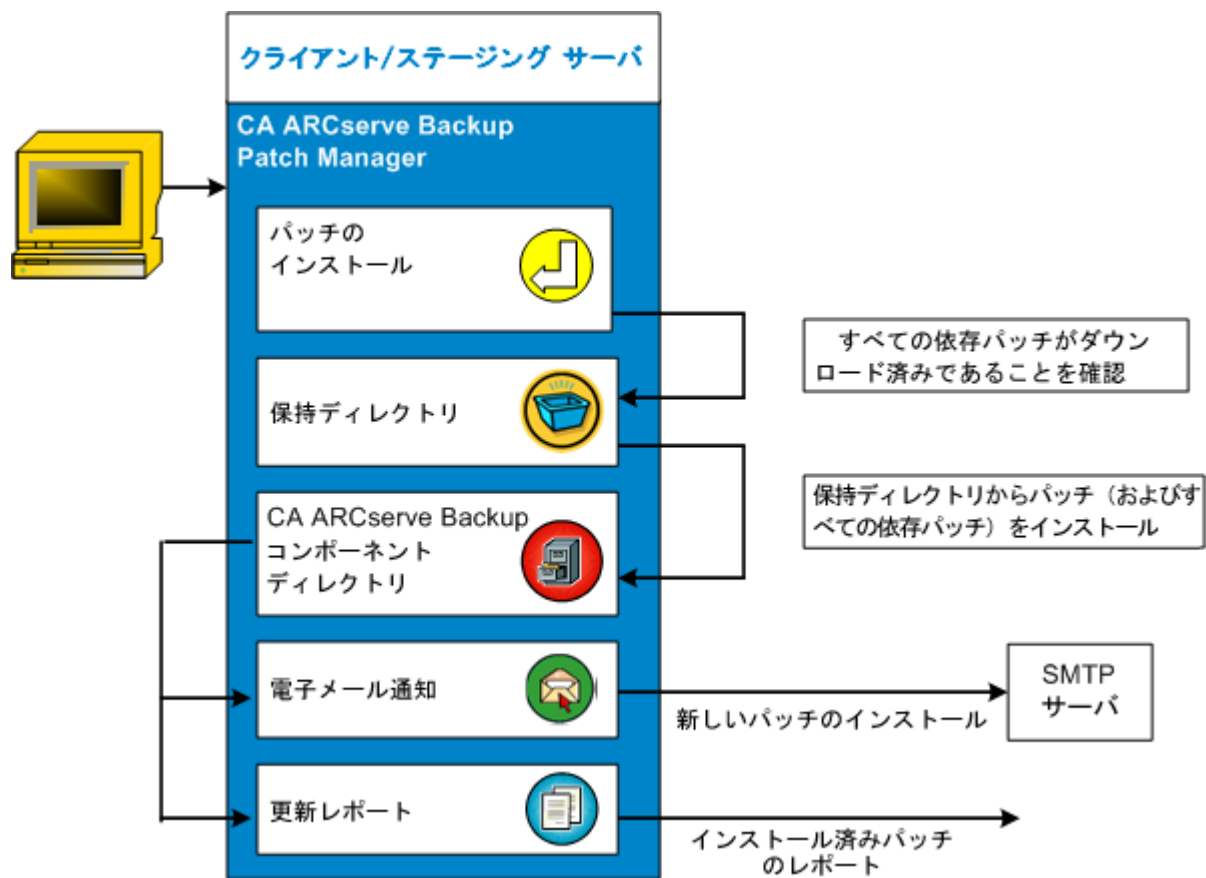
注: Patch Manager にリスト表示された特定の CA ARCserve Backup パッチの追加情報を取得したい場合は、テクニカル サポート (<http://www.ca.com/jp/support/>) を参照してください。

トリガされた CA ARCserve Backup Patch Manager は、まず、指定されたパッチと併せてインストールする必要がある依存パッチの有無をチェックします。

- すべての依存パッチがすでにダウンロードおよびインストールされている場合は、指定されたパッチのインストール プロセスが続行されます。パッチは、保持ディレクトリから、対応するクライアントまたはステージング サーバの適用可能な CA ARCserve Backup コンポーネント ディレクトリにインストールされます。
- インストール対象として選択したパッチに、まだダウンロードしていない前提条件パッチがある場合、まず、前提条件パッチがダウンロードされ、選択したパッチのインストールがそれに続きます。

ステージング サーバからクライアントへのパッチのインストールを直接トリガすることはできません。パッチがステージング サーバからクライアントにダウンロードされると、クライアント上でインストール プロセスがトリガされます。

新しいパッチがインストールされたことを知らせる電子メール通知が送信されます(設定している場合)。さらに、パッチ インストール レポートにも最新のステータスが反映されます。



パッチのインストールプロセス

正常にダウンロードされたパッチのインストールを手動で開始した場合も、自動インストールをスケジュールした場合も、このタスクのプロセスは以下のとおりです。

注: パッチの自動ダウンロードおよびインストールは、CA ARCserve Backup の重要なパッチに対してのみ適用されます。

1. プロセスがトリガされると、クライアントまたはステージング サーバから正常にダウンロードされたパッチが (依存パッチと共に) インストールされます。
2. 新しい CA ARCserve Backup のパッチがインストールされたことを知らせる電子メール通知が送信されます (設定している場合)。
3. レポートタスクが起動され、最新のステータスを反映したパッチ インストールレポートが生成されます。

パッチのインポート

CA ARCserve Backup Patch Manager では、正常にインストールしたパッチの更新ステータス情報をインポートできます。この機能では、CA ARCserve Backup のパッチのパッチ情報を、ダウンロード済みのパッチ情報が含まれるファイルにインポートし、更新します。また、Patch Manager を使用せずにインストールしたパッチのパッチ情報もインポートします。このパッチのインポート機能は、Patch Manager サービスが開始されると自動的にトリガされます。サービスが開始されると、インポートされたパッチのステータス情報が Patch Manager サービスによって GUI に送信され、[パッチの更新] ペインに表示されます。インポート済みのパッチがアンインストールされると、GUI に表示されなくなります。利用可能ではなくなり、また、ダウンロードもされていないからです。

注: 手動でインストールされるパッチや、インストールのステータスが Patch Manager サービスに戻らないパッチは、インポートされます。

パッチのアンインストール

CA ARCserve Backup Patch Manager には、選択した製品に正常にインストールされたパッチや更新をアンインストールする機能があります。このアンインストール機能は、ユーザ インターフェース(GUI)から手動でのみトリガできます。自動的にアンインストールされるようにスケジュールすることはできません。

トリガされた CA ARCserve Backup Patch Manager は、最初に、指定されたパッチに事前にアンインストールする必要がある依存パッチがないかどうかをチェックします。アンインストールできるのは、ほかのインストール済みパッチと依存関係のないパッチのみです。

- すべての依存パッチがすでにアンインストールされている場合は、アンインストール プロセスが続行されます。
- パッチが別のインストール済みパッチと依存関係にある場合は、依存パッチを事前にアンインストールする必要があることを示すエラー メッセージが表示され、アンインストール プロセスは続行されません。依存パッチは強制的にはアンインストールされません。

パッチのインストール履歴レポートにも「アンインストール済み」ステータスが反映されます。

パッチのアンインストール プロセス

インストール済みパッチのアンインストールを選択すると、このタスクのプロセスは以下のように行われます。

1. トリガされた CA ARCserve Backup Patch Manager は、選択されたパッチをアンインストールします。

注: 選択されたパッチが、(インストール済みの)別のパッチの前提条件である場合はアンインストールされません。

2. レポートタスクが起動され、更新されたパッチのインストール レポートが生成されます。


電子メール通知

CA ARCserve Backup Patch Manager には、以下のイベントに対して自動電子メール通知を送信する機能があります。

- 新しいパッチが利用可能になったとき
- パッチのダウンロードが完了したとき
- パッチのインストールが完了したとき

CA ARCserve Backup Patch Manager は、インターネット経由で CA Technologies からユーザのサーバにこれらの電子メール通知を送信できるようにするために、SMTP サーバに (適切な認証情報を使用して) 接続します。

注: サーバが指定されていない場合、デフォルトでは、MX (Mail Exchange) を使用して同じドメイン内のユーザに電子メール通知を配信します。



Latest Patch Updates

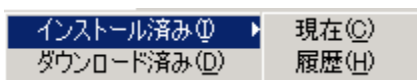
The latest updates to your CA ARCserve Backup environment are now available for download and installation. By installing these updates, you can improve the backup protection of your data, remove any known security vulnerabilities and software defects, enhance product performance and stability, and add the latest features and functionality.

Patch	Published Date	Description	Patch Type	Prerequisites
RO02316	11/20/2008	DEVICE SUPPORT UPDATE 4	DevicePatch	N/A
RO03267	11/21/2008	ONLY 1 DRIVE BACKUP IN CLUSTER VIRTUAL MACHINE	SecurityPatch	N/A
T245530	11/10/2007	E8524 IN BACKUP JOB WHICH SKIPS LOTS OF FILE	CriticalPatch	N/A
T245533	11/11/2008	AW0004 FOR USER.'S HIVE FILES	SecurityPatch	N/A
T2D2675	11/12/2008	RESTORE FAILED WITH E8522 ERROR	DevicePatch	N/A
T2D2676	11/13/2008	RESTORE FAILED WITH E8522 ERROR	CriticalPatch	N/A
T2D2680	11/14/2008	UNABLE TO RESTORE SIS DATA FILE	SecurityPatch	N/A
T2D2681	11/15/2008	UNABLE TO RESTORE SIS DATA FILE	GeneralPatch	N/A
T512092	11/16/2008	FILE SIZE WRONG FOR WITH NETWARE AGENT	CriticalPatch	N/A
T596030	11/17/2008	COMPARE OF EXCHANGE BACKUP FAIL WITH AE0059	CriticalPatch	N/A
T596032	11/18/2008	FILE SIZE WRONG IN RESTORE BY SESSION	GeneralPatch	N/A
T5A0026	11/19/2008	LICENSE ERROR DURING DEVICE CONFIGURATION	GeneralPatch	N/A

You are currently configured to receive automatic email notifications from CA ARCserve Backup Patch Manager. To unsubscribe to these notifications, please contact your Administrator. Please do not respond to this email notification. If you have any questions relating to CA ARCserve Backup or CA ARCserve Backup Patch Manager, please contact [CA Technical Support](#) for online technical assistance.

レポートの生成

CA ARCserve Backup Patch Manager には、現在のステータスと履歴のステータスの両方に関するレポートを生成する機能があります。CA ARCserve Backup Patch Manager のレポート機能は、適用された更新とパッチの追跡のほか、発生した問題のトラブルシューティングにも役立ちます。



生成可能なレポートは以下のとおりです。

- サーバにダウンロードされたパッチ
- サーバにインストールされたパッチ (現在または履歴)



第 2 章: CA ARCserve Backup Patch Manager のインストール

このセクションには、以下のトピックが含まれています。

[インストールの前提条件](#) (P. 29)

[CA ARCserve Backup Patch Manager のインストール](#) (P. 30)

[インストール オプション](#) (P. 33)

[Unicenter Software Delivery を使用した CA ARCserve Backup Patch Manager のインストール](#) (P. 44)

[インストール後](#) (P. 45)

[CA ARCserve Backup Patch Manager のアンインストール](#) (P. 46)

インストールの前提条件

CA ARCserve Backup Patch Manager をインストールする前に、以下の前提条件を確認してください。

- ローカル サーバをステージング サーバとして使用できます。CA ARCserve Backup Patch Manager をローカル サーバにステージング サーバとしてインストールする場合は、このローカルのサーバに Microsoft Internet Information Services (IIS) 6.0 以降がインストールされている必要があります。
ステージング サーバでは、IIS のデフォルトの IIS サイトが利用可能で、実行中になっている必要があります。
- クライアントへのインストールでは、事前に CA ARCserve Backup r12 SP2 以降のコンポーネントをクライアントにインストールしておく必要があります。

CA ARCserve Backup Patch Manager のインストール

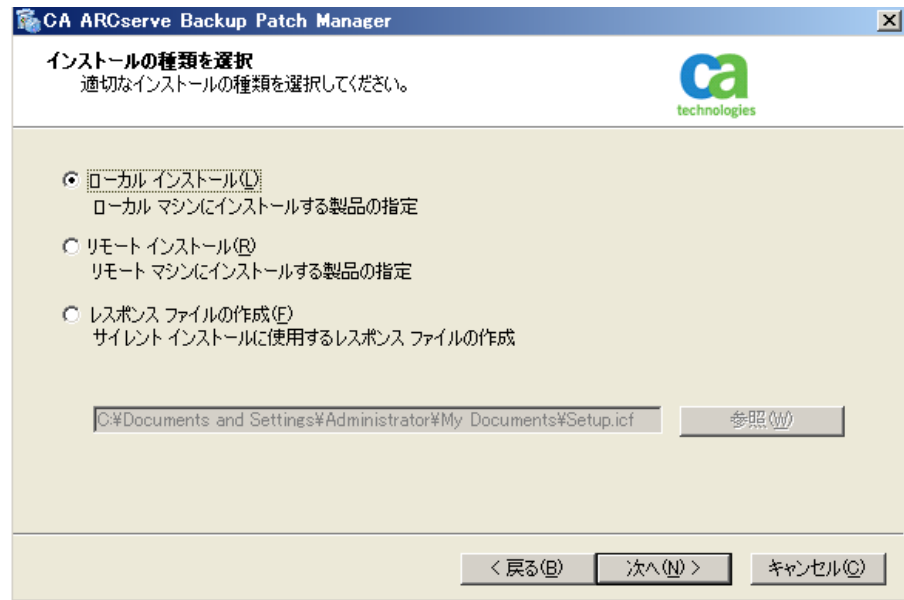
CA ARCserve Backup Patch Manager をインストールするには、以下の手順に従います。

1. CA ARCserve Backup Patch Manager アプリケーションをダウンロードした場所を参照し、セットアップ実行可能ファイルをダブルクリックしてインストールプロセスを開始します。

デフォルトでは、CA ARCserve Backup Patch Manager は以下の場所にインストールされます。

X:\Program Files\CA\Shared Components\APM\Patch Manager

2. ウィザードのメッセージに従って、CA ARCserve Backup Patch Manager のインストールプロセスを完了します。
3. インストール中に、インストールの種類を選択するよう求められます。選択可能なオプションは、[ローカル インストール]、[リモート インストール]、[レスポンス ファイルの作成]です。



[ローカル インストール]

CA ARCserve Backup Patch Manager をローカル コンピュータにインストールします。

[リモート インストール]

CA ARCserve Backup Patch Manager をリモート コンピュータにインストールします。

[レスポンス ファイルの作成]

レスポンスファイルを作成します。レスポンスファイルを使用すると、インストールする製品のさまざまな環境設定やセットアップ パラメータを保存して、インストール プロセスを簡略化できます。レスポンスファイルの作成後、サイレント インストールを実行して複数のコンピュータに同様のインストールを行うことができます。

デフォルトでは、レスポンスファイル (setup.icf) は、X:¥Documents and Settings¥User Login ID¥My Documents¥Setup.icf に作成されます。ただし、[参照] ボタンを使用すると、別の場所にレスポンスファイルを作成できます。

4. インストールが完了すると、製品サービスが Windows サービスコントロールマネージャ (SCM) に「CA ARCserve Backup Patch Manager」として登録されます。

注: CA ARCserve Backup Patch Manager を初めてインストールする場合、すでにインストールされている発行済みパッチの情報のみが Patch Manager に自動的にインポートされます。

[ローカル インストール]

[ローカル インストール] オプションを使用すると、CA ARCserve Backup Patch Manager をローカル コンピュータにインストールできます。ローカル インストール プロセス中に、以下のオプションを指定するように求められます。

- [サーバ オプションの選択](#) (P. 34)
- [更新オプションの選択](#) (P. 37)
- [電子メール通知オプションの選択](#) (P. 39)
- [プロキシ オプションの選択](#) (P. 40)

[リモート インストール]

[リモート インストール]オプションを使用すると、CA ARCserve Backup Patch Manager をリモートコンピュータにインストールできます。リモートインストールプロセス中に、以下のオプションを指定するように求められます。

- [リモートインストールを行うコンピュータの選択](#) (P. 42)
- [サーバオプションの選択](#) (P. 34)
- [更新オプションの選択](#) (P. 37)
- [電子メール通知オプションの選択](#) (P. 39)
- [プロキシオプションの選択](#) (P. 40)

サイレント インストール レスポンス ファイルの作成

[レスポンス ファイルの作成]オプションを使用すると、CA ARCserve Backup Patch Manager をコンピュータにインストールするためのレスポンス ファイルを作成できます。レスポンス ファイルは、インストールする製品のさまざまな環境設定やセットアップ パラメータを保存することによって、インストール プロセスを簡略化するテキスト ファイルです。レスポンス ファイルには、各種インストール オプションに対する回答内容が記録されます。それぞれの回答は、レスポンス ファイルで特定される変数の値として格納されます。

既存のレスポンス ファイルに格納されている値を編集または変更するには、[レスポンス ファイルの作成]オプションを使用して CA ARCserve Backup Patch Manager セットアップを再起動し、新しい値を選択して、以前に作成したレスポンス ファイルを上書きする必要があります。

作成された CA ARCserve Backup Patch Manager のレスポンス ファイル (setup.icf) は、サイレント インストール中に使用されます。サイレント インストールでは、サイレント インストールのレスポンス ファイルの作成時に指定した設定値に基づいた自動インストールが可能になります。サイレント インストールでは入力はありませんが、その代わりに実行時に必要な情報がレスポンス ファイル (setup.icf) から読み取られます。サイレント インストールは、複数のコンピュータ上で同様のインストールを実行するときを使用します。

サイレント インストールを開始するには、以下のコマンドを実行する必要があります。

```
>mastersetup.exe /I:"<setup.icf レスポンス ファイルのパス>"
```

レスポンス ファイルを作成するインストール プロセス中に、以下のオプションを指定するように求められます。

- [サーバ オプションの選択](#) (P. 34)
- [更新オプションの選択](#) (P. 37)
- [電子メール通知オプションの選択](#) (P. 39)
- [プロキシ オプションの選択](#) (P. 40)

インストール オプション

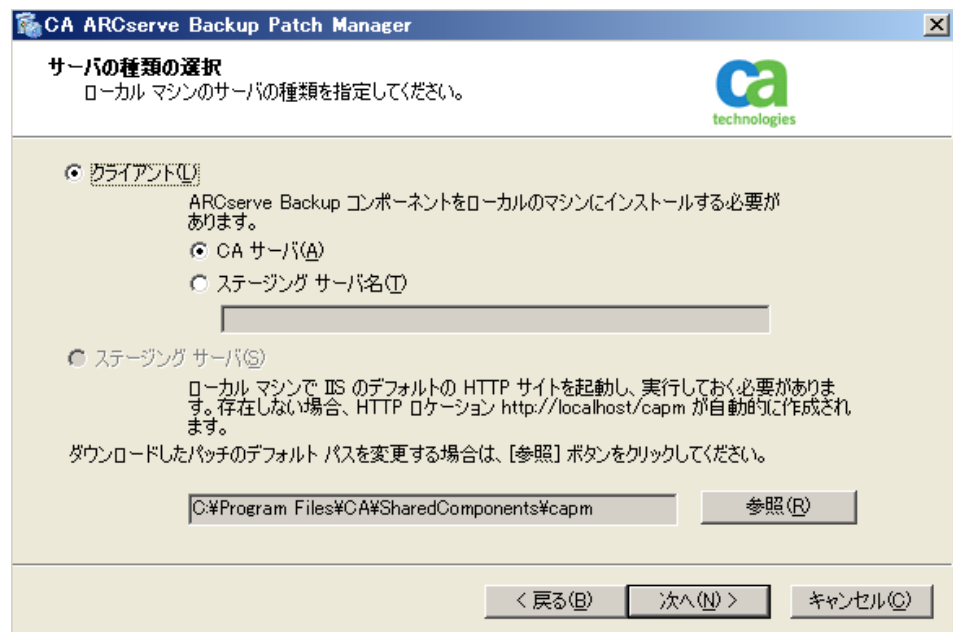
インストール プロセスでは、オプションの指定を要求するさまざまなウィザード画面が表示されます。実行するインストールの種類によって、表示されるオプション画面は異なります。

サーバの種類を選択

ローカル コンピュータのサーバの種類を選択します。利用可能なオプションは、[クライアント]と[ステージング サーバ]です。選択できるオプションは1つのみです。

[クライアント]および[ステージング サーバ]の両方のオプションとも、パッチのダウンロードパスはデフォルトで「X:\Program Files\CA\SharedComponents\capm」になります。マシンに利用可能なパッチがある場合、パッチのダウンロード後、ダウンロードしたパッチはこの場所に格納されています。[参照]ボタンをクリックして、capm フォルダの場所を変更することができます。デフォルトのダウンロードパスを変更した場合、新しいサブフォルダ capm が自動的に作成され、そこにパッチがダウンロードされます。

たとえば、デフォルトのパスを c:\myPatches に変更した場合、パッチは c:\myPatches\capm フォルダにダウンロードされます。



クライアント

ローカル サーバをクライアントとして使用し、CA ARCserve Backup Patch Manager をクライアントに直接インストールするように指定します。CA ARCserve Backup Patch Manager は、1 つ以上のマシンまたはサーバにインストール可能で、ステージング サーバまたは CA Technologies サポート サーバと通信します。

クライアントインストールの前提条件として、CA ARCserve Backup Patch Manager は CA ARCserve Backup がインストールされているマシンにインストールする必要があります。

- CA ARCserve Backup r12 SP2 以降がクライアントにインストールされていることが検出されると、このオプションは利用可能になります。
- CA ARCserve Backup r12 SP2 以降がまだクライアントにインストールされていないことが検出されると、このオプションは使用できません。

[クライアント]オプションを選択すると、パッチのダウンロード元となる CA Technologies サポート サーバ名を指定できます。

- [CA サーバ] (デフォルト オプション) を選択した場合、パッチは CA Technologies サポート サーバ ロケーションからダウンロードされます。
- ステージング サーバ ロケーションを選択した場合、ステージング サーバのホスト名または IP アドレスも指定する必要があります。

注: 使用しているローカル ホスト マシンをステージング サーバとして指定することはできません。ローカル ホスト マシンをステージング サーバとして指定しても、ステージング サーバが自身に接続してパッチを取得およびダウンロードすることはできないため、この設定は無効になります。

パッチは、CA Technologies Web サイトから、指定したステージング サーバ ロケーションにダウンロードされます。ステージング サーバへのパッチのダウンロード完了後に、ステージング サーバからクライアントにパッチをダウンロードできます。

ステージング サーバ

ローカル サーバをステージング サーバとして使用し、CA ARCserve Backup Patch Manager をステージング サーバに直接インストールするように指定します。

ステージング サーバのインストールの前提条件として、CA ARCserve Backup Patch Manager は Microsoft Internet Information Services (IIS) 6.0 以降がすでにインストールされているマシンにインストールする必要があります。

- Microsoft Internet Information Services (IIS) 6.0 以降がすでにステージング サーバにインストールされていることが検出されると、このオプションは利用可能になります。

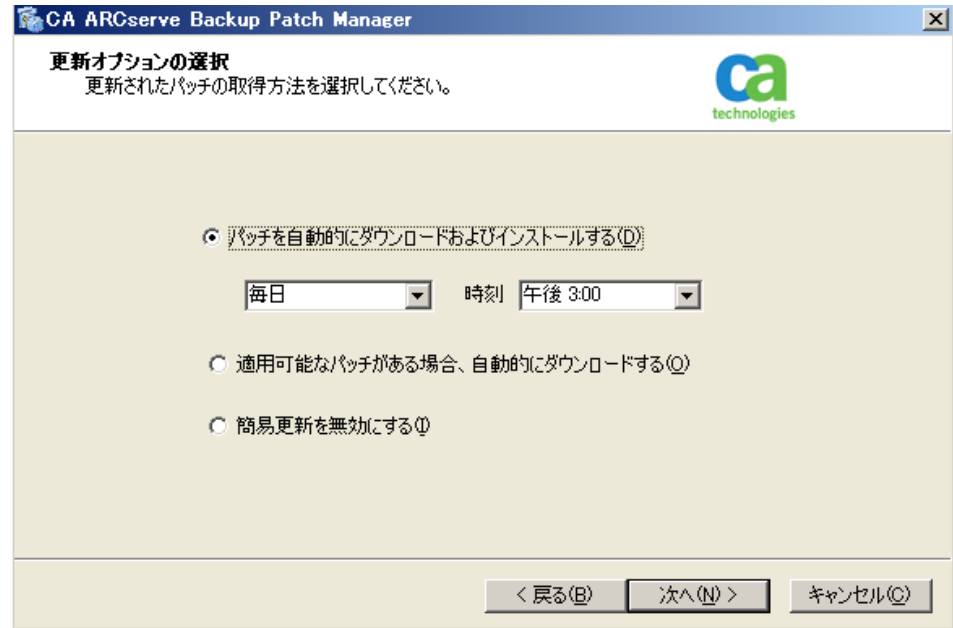
注: ステージング サーバでは、IIS のデフォルトの IIS サイトが利用可能で、実行中になっている ([匿名接続を許可する]セキュリティオプションも正しく選択されている) 必要があります。

- Microsoft Internet Information Services (IIS) 6.0 以降がまだステージング サーバにインストールされていないことが検出されると、このオプションは使用できません。

HTTP ロケーション ディレクトリ (<http://localhost/capm>) がステージング サーバ上に自動的に作成され、すべてのパッチがこのディレクトリの capm フォルダにダウンロードされます。

更新オプションの選択

更新オプションを選択して、パッチ情報の更新方法を指定します。



[パッチを自動的にダウンロードおよびインストールする]

利用可能な新しい CA ARCserve Backup のパッチを自動的にチェック、ダウンロード、およびインストールするように指定します。このオプションを選択すると、ドロップダウンメニュー機能を使用して、この機能を実行する日(毎日または指定した曜日)と時刻を指定できます。このオプションを選択して日時を指定しなかった場合には、デフォルトで、毎日午後 3 時に自動的にダウンロードおよびインストールを実行するようスケジュールされます。

重要: パッチの自動ダウンロード/インストールにスケジュール日時を指定する際、スケジュールがほかのアクティブなスケジュール済み CA ARCserve Backup ジョブ(バックアップ、リストア、スキャン、マージ、テープコピーなど)と同時に実行されたり競合したりしないようにしてください。パッチによっては、そのインストールが原因で、CA ARCserve Backup Services がシャットダウンされる場合や、ジョブが中断される場合があります。

[利用可能なパッチがあれば自動的にダウンロードする]

CA ARCserve Backup の利用可能なパッチがあれば自動的にダウンロードするように指定します。

[簡易更新の無効化]

パッチの自動チェック、ダウンロード、およびインストールの機能をすべて無効にするように指定します。このオプションを選択すると、これらのパッチ機能は手動でのみ開始できます。

注: パッチの自動ダウンロードおよびインストールは、CA ARCserve Backup の重要なパッチに対してのみ適用されます。

電子メール通知オプションの選択

新しいパッチ情報を知らせる方法とタイミングを指定するには、電子メール通知オプションを選択します。

電子メール通知を受信するために選択可能なオプションは以下のとおりです。

- 更新が存在するとき
- パッチのダウンロードの完了時
- パッチのインストールの完了時

複数のオプションを選択できます。電子メール アドレス (複数も可) も指定する必要があります。SMTP アドレスの指定は任意です。複数の電子メール アドレスを入力するには、各アドレスをセミコロンで区切る必要があります。

[利用可能なパッチがある場合]

新しいパッチが利用可能になったときに電子メール通知を受信するように指定します。

[ダウンロードの完了時]

パッチのダウンロードが完了したときに電子メール通知を受信するように指定します。

[インストールの完了時]

パッチのインストールが完了したときに電子メール通知を受信するように指定します。

[SMTP サーバ]

CA ARCserve Backup Patch Manager からサーバに電子メール通知を送信するために使用する SMTP サーバのアドレスを指定します。[SMTP サーバで以下の認証情報を使用する]オプションを選択する場合は、SMTP サーバの使用に必要な認証情報(ユーザ ID とパスワード)も入力する必要があります。設定に際して、パスワードの確認が求められます。

サーバが指定されていない場合、デフォルトで、MX (Mail Exchange)を使用して同じドメイン内のユーザに電子メール通知を配信します。


注: MXレコードは DNS (Domain Name System)にあるリソースレコードの1つで、ドメイン内で SMTP (Simple Mail Transfer Protocol)を使用し、メール交換サーバによってインターネット電子メールをユーザヘルレーティングおよび配信する方法を指定するために使用されます。

プロキシ オプションの選択

パッチをプロキシ サーバ経由でダウンロードする場合は、使用するプロキシ オプションを選択します。このサーバは、ローカル サーバ(またはステージングサーバ)が CA Technologies サポート サーバからパッチを取得する際に経由するサーバです。

CA ARCserve Backup Patch Manager

プロキシ オプションの選択
プロキシ サーバを指定してください。



インターネットへの接続にプロキシ サーバを使用しない(D)

プロキシ サーバの設定を自動的に検出する(P)

以下のプロキシ サーバを使用する(U)

プロキシ サーバ: ポート:

プロキシ サーバで以下の認証情報を使用する(M):

ユーザ ID: パスワード:

パスワードの確認:

< 戻る(B) 次へ(N) > キャンセル(C)

[インターネットへの接続にプロキシ サーバを使用しない]

パッチ情報を取得するために CA Technologies サポートのインターネットサイトに接続する際にプロキシ サーバを使用しないことを指定します。代わりに (CA ARCserve Backup がインストールされている) クライアントマシンが、パッチ情報を取得するために CA Technologies サポートサイトに直接接続します。

[プロキシ サーバの設定を自動的に検出する]

プロキシ サーバの設定を自動的に検出して使用するよう指定します。

[以下のプロキシ サーバを使用する]

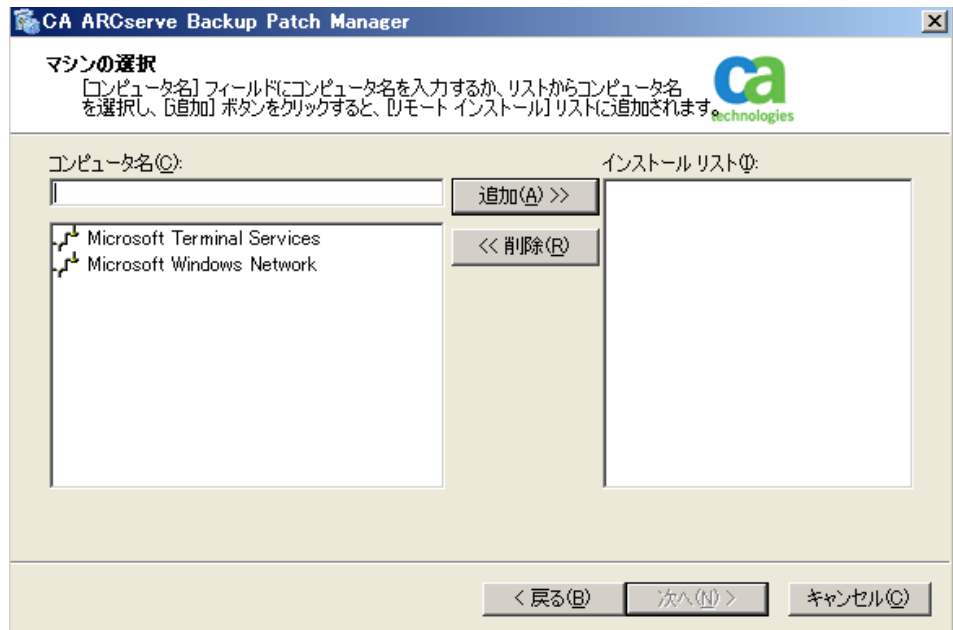
入力したプロキシ サーバ設定を使用するよう指定します。このオプションを選択すると、プロキシ サーバの IP アドレス (またはマシン名) およびプロキシ サーバがインターネット接続する際に使用される、対応するポート番号も指定する必要があります。

[プロキシ サーバで以下の認証情報を使用する]

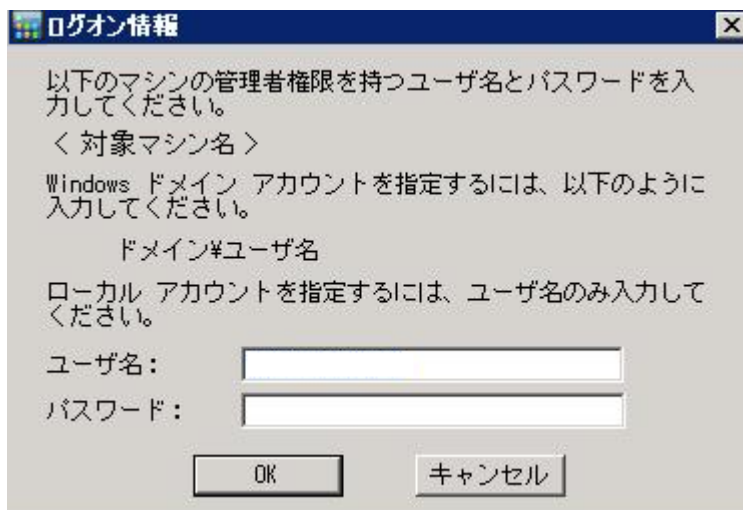
プロキシ サーバを使用する際に認証情報 (ユーザ ID とパスワード) が必要となるように設定します。設定に際して、パスワードの確認が求められます。

リモート インストールを実行するコンピュータの選択

CA ARCserve Backup Patch Manager をリモートインストールするコンピュータを選択します。[コンピュータ名]フィールドに名前を入力するか、表示されているリストでコンピュータを選択して[追加]ボタンをクリックすると、リモートインストールリストにそのコンピュータが追加されます。また、[削除]ボタンをクリックし、リモートインストールリストから必要に応じてコンピュータを削除することもできます。



リモートインストールするコンピュータを指定すると、[ログオン]情報ダイアログボックスが表示され、リモートアクセス認証情報(ユーザ名およびパスワード)の入力が求められます。



Unicenter Software Delivery を使用した CA ARCserve Backup Patch Manager のインストール

CA ARCserve Backup Patch Manager をインストールするには、Unicenter Software Delivery ジョブの作成時に、あらかじめ生成しておいたレスポンス ファイルを指定する必要があります。

注: レスポンス ファイル作成の詳細については、「サイレント インストール レスポンス ファイルの作成」を参照してください。

Unicenter Software Delivery を使用して CA ARCserve Backup Patch Manager をインストールするには、以下の手順に従います。

1. Unicenter Software Delivery Explorer で、インストール手順を右クリックします。インストール先のコンピュータまたはコンピュータのグループにドラッグして、表示されるメニューから[ジョブのスケジュール]オプションを選択します。

[ジョブの設定]ダイアログ ボックスが表示されます。

2. [ジョブ オプション]タブの[ユーザ パラメータ]フィールドに、以下の構文と引数でレスポンス ファイルを指定します。

/I:"レスポンス ファイルへのフル パス"

例:

/I:"¥sdo-server¥sdlib¥responsefiles¥setup.icf"

sdo-server

Unicenter Software Delivery サーバを指定します。

setup.icf

MasterSetup.exe を使用して作成されたレスポンス ファイルの名前を指定します。

ジョブによって、ターゲットコンピュータ上のインストール プログラムが実行されると、Unicenter Software Delivery サーバに保存したレスポンス ファイルから設定情報が読み込まれます。

インストール後

インストールプロセスが完了すると、次の状態になります。

- CA ARCserve Backup Patch Manager が[プログラムの追加と削除]ツールの [現在インストールされているプログラム]のリストに追加されます。必要に応じて、CA ARCserve Backup Patch Manager は標準の[プログラムの追加と削除]機能を使ってアンインストールできます。
- プログラムのショートカット(Patch Manager)が Start/CA/ARCserve Backup Patch Manager ディレクトリに自動的に作成されます。これにより、必要に応じて、手動で CA ARCserve Backup Patch Manager を起動し、利用可能なパッチのチェック、パッチのダウンロード、およびパッチのインストールを実行できます。
- ステージング サーバを使用した展開では、ステージング サーバ Web サイト (<http://localhost/capm>)が作成され、利用可能なパッチが管理されます。
- レスpons ファイルを作成した場合、指定したインストール パラメータは「setup.icf」ファイルに保存され、以下のコマンドの実行によるサイレントインストールで使用されます。

```
>mastersetup.exe /I:"<.setup.icf レスpons ファイルのパス>"
```
- インストールが完了すると、CA ARCserve Backup Patch Manager のエントリがレジストリに作成されます。
- インストールが成功すると、最後に CA ARCserve Backup Patch Manager サービスが作成されます。
- CA ARCserve Backup Patch Manager のインストールよりも前にインストールされていた発行済みパッチのみがインポートされ、[パッチの更新]ペインに表示されます。
- CA ARCserve Backup Patch Manager のフォルダ構造は以下のとおりです。
X:¥Program Files¥CA¥Shared Components¥APM¥PatchManager

CA ARCserve Backup Patch Manager のアンインストール

CA ARCserve Backup Patch Manager は標準の [プログラムの追加と削除] 機能を使用してアンインストールできます。

注: CA ARCserve Backup Patch Manager のアンインストール後も、パッチ ステータス ファイルとパッチ履歴ファイルは APM フォルダに残ります。ただし、これらのファイルは、CA ARCserve Backup を完全にアンインストールすると削除されます。

第 3 章: GUI による CA ARCserve Backup Patch Manager の使用

このセクションには、以下のトピックが含まれています。

[CA ARCserve Backup Patch Manager GUI について](#) (P. 48)

[\[環境設定\]ダイアログについて](#) (P. 57)

[利用可能なパッチの手動によるチェック](#) (P. 64)

[手動によるパッチのダウンロード](#) (P. 66)

[手動によるパッチのインストール](#) (P. 70)

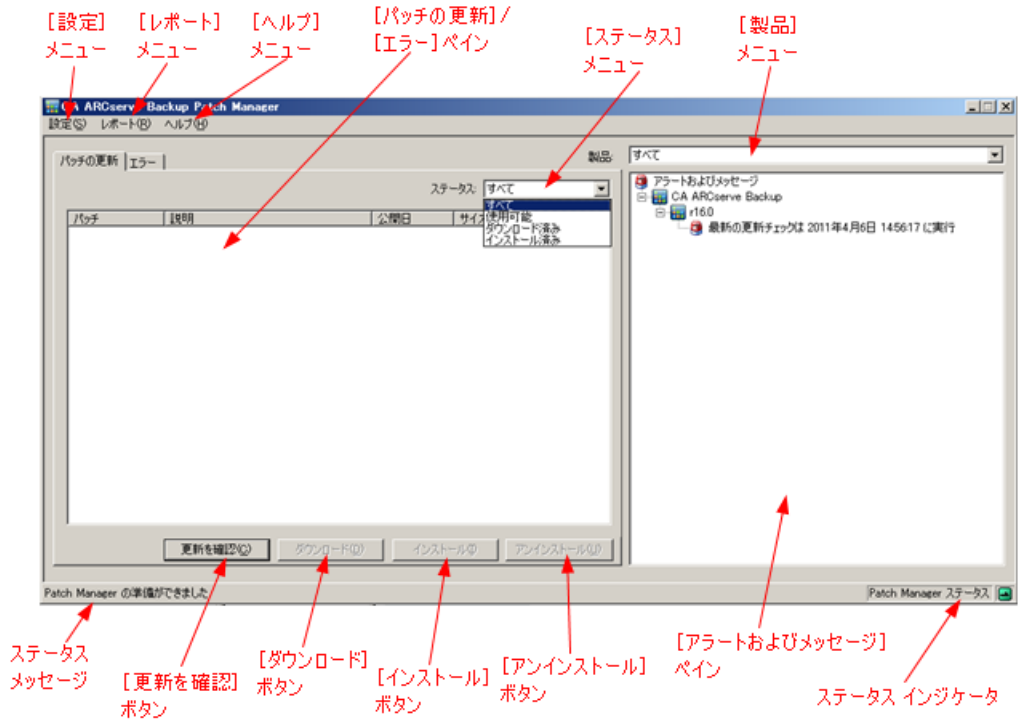
[手動によるパッチのアンインストール](#) (P. 73)

[パッチの自動ダウンロードおよびインストール](#) (P. 76)

CA ARCserve Backup Patch Manager GUI について

CA ARCserve Backup Patch Manager を使用する前に、ユーザ インターフェースについて理解しておくことをお勧めします。CA ARCserve Backup Patch Manager GUI (Graphical User Interface) では、パッチのチェック、ダウンロード、およびインストールについて、その設定、スケジュール、モニタリングを管理できます。ダウンロード、インストール、またはアンインストールされたパッチのリスト(現在または履歴)を表示することもできます。GUI は、複数の表示ペイン、メニュー、およびオプションで構成されています。

注: CA ARCserve Backup Patch Manager 自身のパッチは[製品]ドロップダウンメニューや[パッチの更新]ペインには表示されません。これらの自己パッチは常に重要なパッチとみなされ、すべてのアクション(更新の確認、ダウンロード、インストール)はスケジュールされたとおりに自動的に実行されます。



[設定]メニュー

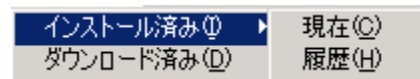
[環境設定]ダイアログにアクセスし、対象ジョブに対する CA ARCserve Backup Patch Manager の環境設定を指定できます。この[環境設定]ダイアログで指定する設定は、インストール ウィザードで以前に指定した設定、またはデフォルト設定より優先されます。

[環境設定]ダイアログの詳細については、[「\[環境設定\]ダイアログについて」](#)(P. 57)を参照してください。

[レポート]メニュー

パッチ ステータスレポートを手動で選択して表示できます。[レポート]メニューから、インストール済みパッチ (現在または履歴) およびダウンロード済みパッチを表示するように指定できます。

- [インストール済み]パッチの[現在]のレポートには、ローカル サーバに現在インストールされているすべての発行済みパッチおよびテスト修正が表示されます。
- [インストール済み]パッチの[履歴]のレポートには、ローカル サーバに現在インストールされているすべての発行済みパッチおよびテスト修正に加えて、すでにアンインストールされたすべてのパッチの履歴も表示されます。
- [ダウンロード済み]パッチのレポートには、現在までにダウンロードされたすべてのパッチが表示されます。



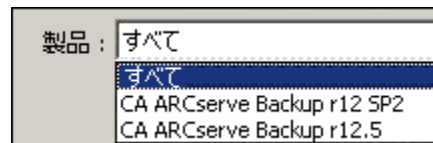
[ヘルプ]メニュー

CA ARCserve Backup Patch Manager ヘルプ システムにアクセスできます。

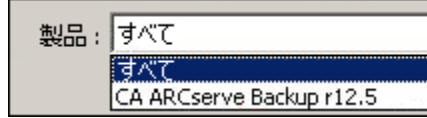
[製品]ドロップダウン メニュー

パッチ情報を取得する CA ARCserve Backup のバージョンを選択できます。

- CA ARCserve Backup Patch Manager がステージング サーバとしてインストールされている場合、このドロップダウン メニューには、サポートされているすべての製品/リリースが表示されます。



- CA ARCserve Backup Patch Manager がクライアントとしてインストールされている場合、このドロップダウンメニューには、そのマシンに現在インストールされている製品/リリースのみが表示されます。



[ステータス]ドロップダウンメニュー

[パッチの更新]/[エラー情報]ペインに表示するパッチ情報の種類を選択できます。[パッチの更新]タブを選択している場合、選択可能な[ステータス]オプションは、[すべて]、[利用可能]、[ダウンロード済み]、および[インストール済み]です。[エラー]タブを選択している場合、選択可能なオプションは、[すべて]、[エラー]、[ダウンロードエラー]、[インストールエラー]、および[アンインストールエラー]です。デフォルトでは、すべてのパッチ情報が表示されます。



[パッチの更新] ペイン

[パッチの更新] タブを選択している場合、対応するステータス([利用可能]、[ダウンロード済み]、または[インストール済み]) がパッチ情報として表示されます。発行済みパッチ(テスト修正は含みません)のみが [パッチの更新] ペインに表示されます。

重要なパッチ、セキュリティパッチ、およびデバイスパッチに分類されるパッチは、対応するアイコンによって識別されます。**注:** パッチ名の上にカーソルを合わせると、ヒントのウィンドウが表示されます。



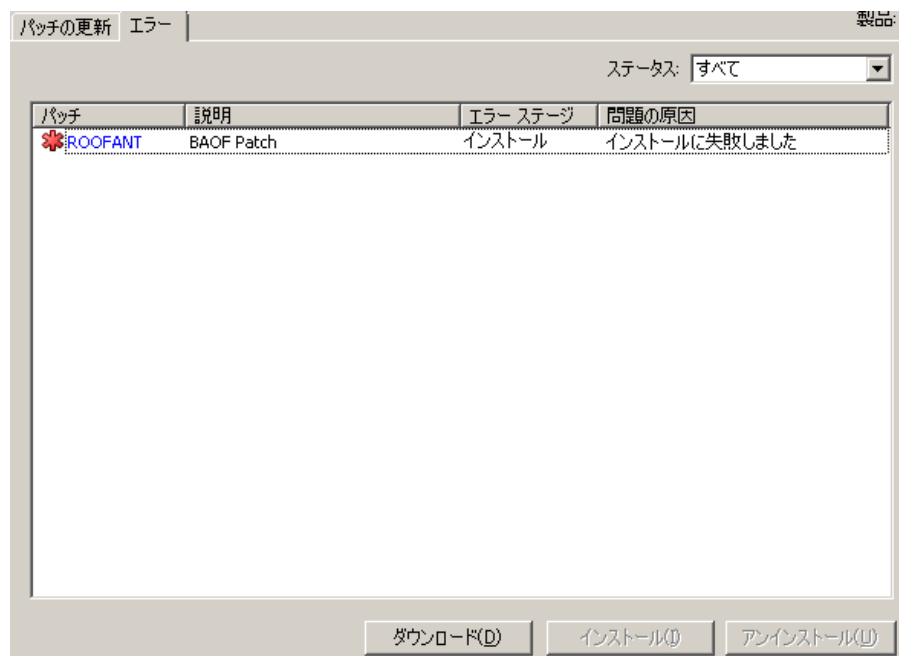
パッチ番号が青色で表示されている場合、CA Technologies Support Connect の Web サイト上の対応する Readme へのリンクとして機能します。これにより、さらに詳しい情報を入手できます。リンクとして使用できない場合、パッチ番号は黒色で表示されます。

注: ダウンロードまたはインストールするパッチを複数選択するには、Ctrl キーまたは Shift キーの組み合わせを使用します。ただし、複数のパッチの選択は、選択するすべてのパッチのステータス(利用可能、ダウンロード済み、またはインストール済み)が同じ場合のみ機能します。複数のダウンロード/インストールは、同時ではなく、順番に実行されます(前提条件パッチに基づく)。

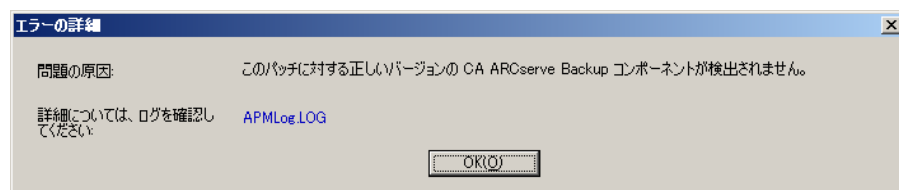
[エラー情報] ペイン

[エラー] タブを選択している場合、対応する選択したパッチのエラー情報が表示されます。

注: 表示されているパッチをダブルクリックすると、問題の詳細な情報をポップアップ ウィンドウで表示できます。



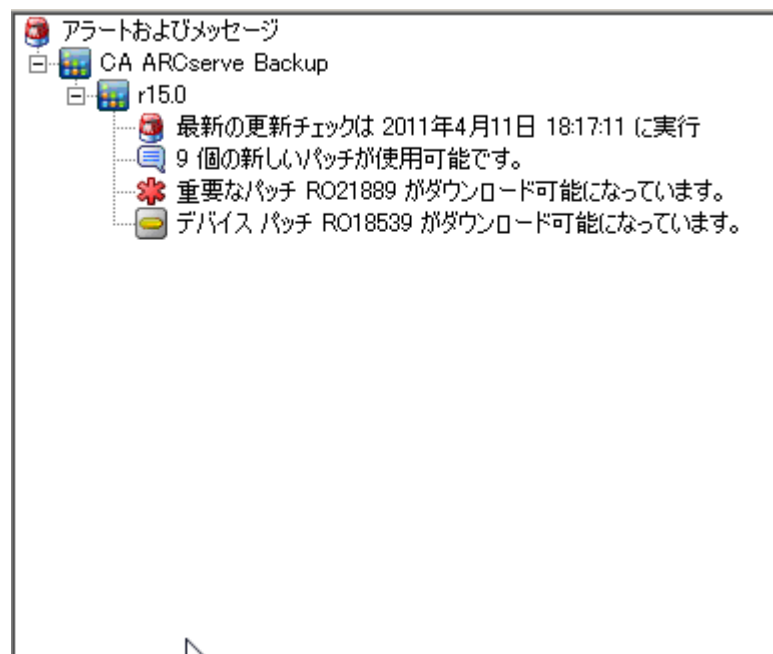
表示されているパッチをダブルクリックすると、[エラーの詳細] ウィンドウが表示され、問題の詳細情報を確認できます。



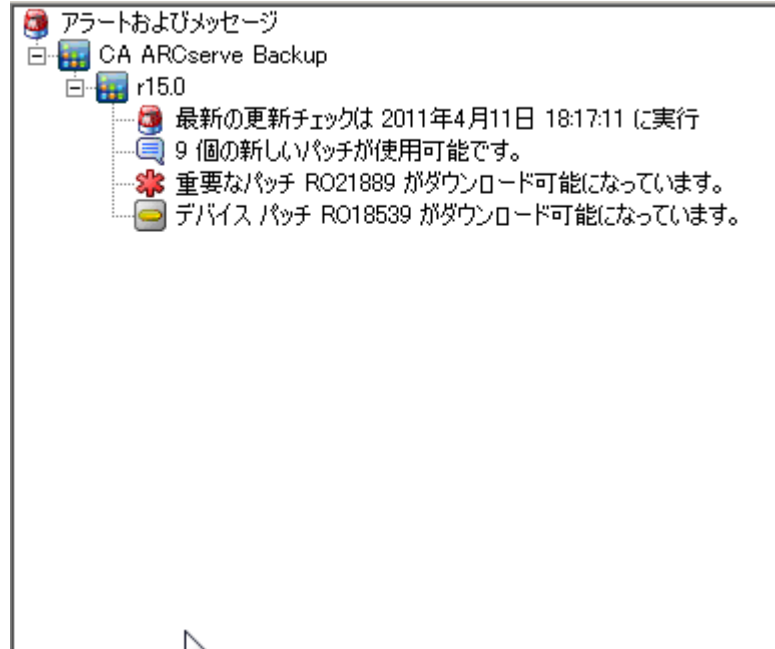
[アラートおよびメッセージ]ペイン

CA ARCserve Backup パッチに関連する情報を示すアラートやメッセージが表示されます。この表示には、最新の更新チェック日時、利用可能な重要なパッチ、デバイスパッチ、セキュリティパッチがあるかどうかなどの情報が含まれます。[アラートおよびメッセージ]ペインは、GUIを開くときに自動的に更新されますが、[更新を確認]ボタンをクリックして手動で更新することもできます。

- CA ARCserve Backup Patch Manager がステージング サーバとしてインストールされている場合、このペインには、サポートされているすべての製品/リリースに関するアラートとメッセージが表示されます。



- CA ARCserve Backup Patch Manager がクライアントとしてインストールされている場合、このペインには、そのマシンに現在インストールされている製品/リリースに関するアラートとメッセージのみが表示されます。



このペインには、インポートしたパッチの情報と、自己更新ステータス(CA ARCserve Backup Patch Manager の更新ステータス)も表示されます。

注: CA ARCserve Backup Patch Manager 自身のパッチがインストールされる場合、その更新情報は[アラートおよびメッセージ]ペインに表示されます。

パッチ アイコン

各ペインにリスト表示されたパッチおよびメッセージには、パッチ タイプを表すアイコンが付いています。



[更新を確認]ボタン

CA ARCserve Backup の利用可能な新しいパッチのチェックを手動で開始できます。

ボタンをクリックすると、CA ARCserve Backup Patch Manager が CA Technologies サポートのインターネットサイトに接続し、利用可能なパッチのうちでどれが新しく、まだダウンロードおよびインストールされていないかを判別します。利用可能なパッチ、ダウンロード済みパッチ、およびインストール済みパッチがすべて[パッチの更新]ペインにリストされます。

[更新を確認]ボタンは常に有効です。

[ダウンロード]ボタン

選択したパッチのダウンロードを手動で開始できます。この[ダウンロード]ボタンは、選択したパッチのステータスが「利用可能」の場合のみ有効です。

ボタンをクリックすると、CA ARCserve Backup Patch Manager は、まず、選択されたパッチと併せてダウンロードする必要がある依存パッチの有無をチェックします。このパッチのダウンロード依存関係情報が、対応する[依存関係]画面に表示されます。

[ダウンロード]ボタンは、「利用可能」なパッチを選択している場合のみ有効です。

[インストール]ボタン

選択したパッチのインストールを手動で開始できます。この[インストール]ボタンは、選択したパッチのステータスが「ダウンロード済み」の場合のみ有効です。

ボタンをクリックすると、CA ARCserve Backup Patch Manager は、まず、選択されたパッチと併せてインストールする必要がある依存パッチの有無をチェックします。このパッチのインストール依存関係情報が、対応する[依存関係]画面に表示されます。

[インストール]ボタンは、「ダウンロード済み」パッチを選択している場合のみ有効です。

[アンインストール]ボタン

選択したパッチのアンインストールを手動で開始できます。この[アンインストール]ボタンは、選択したパッチのステータスが「インストール済み」の場合のみ有効です。

ボタンをクリックすると、CA ARCserve Backup Patch Manager は、まず、選択したパッチに、事前にアンインストールが必要な依存パッチがないかどうかをチェックします。アンインストールできるのは、ほかのインストール済みパッチと依存関係のないパッチのみです。パッチのアンインストールが完了すると、ステータスが「ダウンロード済み」に変わります。

[アンインストール]ボタンは、「インストール済み」パッチを選択している場合のみ有効です。

ステータス インジケータ

実行したアクションの現在のステータスと Patch Manager サービスのステータス(準備完了、停止、使用中)が表示されます。



- **準備完了** - Patch Manager サービスは実行中で、新規リクエストを処理する準備ができています。
- **停止** - Patch Manager サービスは停止しました。
- **使用中** - Patch Manager サービスはリクエストを処理しています (GUI を介した手動処理またはスケジューラを介した自動処理)。

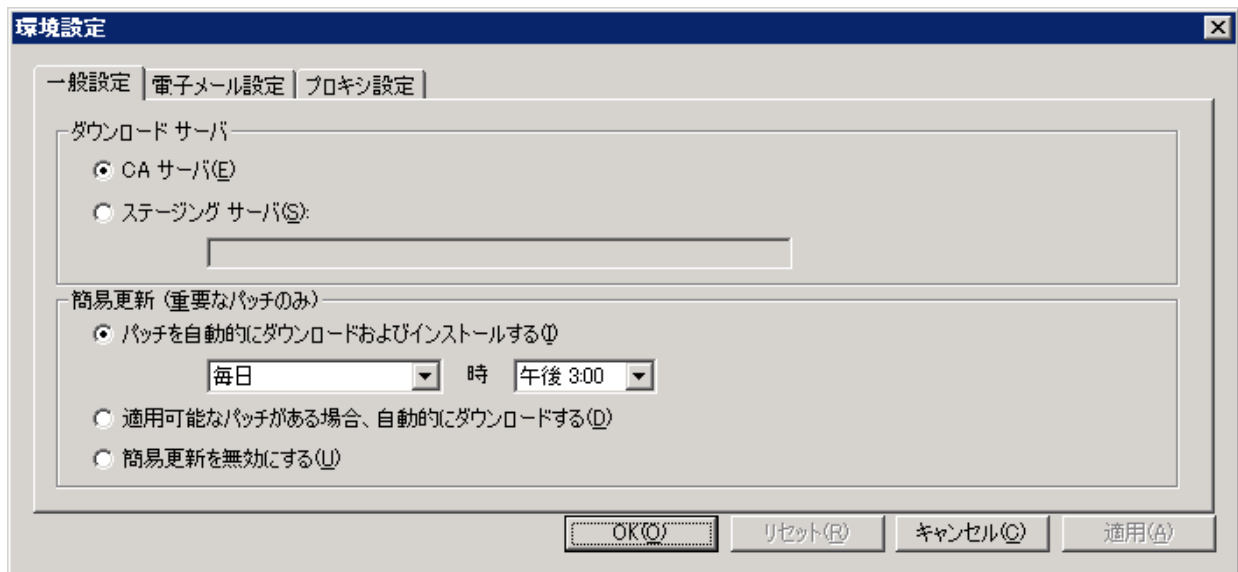
[環境設定]ダイアログについて

[設定設定]ダイアログ ボックスでは、CA ARCserve Backup Patch Manager の環境設定の指定や変更が可能です。通常、環境設定は CA ARCserve Backup Patch Manager のインストールプロセス中に指定し、優先させる設定がほかになれば、すべてのジョブに自動的に適用されます。この[環境設定]ダイアログで指定する設定は、インストールウィザードで以前に指定した設定、またはデフォルト設定より優先されます。また、[環境設定]ダイアログでの設定はグローバルであり、選択した製品すべてに適用されます。

[環境設定]ダイアログは、CA ARCserve Backup Patch Manager GUI の[設定]ドロップダウンメニューから表示できます。[環境設定]ダイアログは、3 つのペイン、つまり、[一般設定]、[電子メール設定]、[プロキシ設定]タブで構成されています。

[環境設定]の[一般設定]について

[環境設定]ダイアログ ボックスの[一般設定]タブでは、そのジョブで使用する[ダウンロード サーバ]および[簡易更新]の設定を指定できます。



CA サーバ

CA Technologies サポートサーバ上の HTTP ロケーション ディレクトリを指定します。CA ARCserve Backup Patch Manager は、事前に設定した HTTP サーバに自動的に接続し、利用可能な新しいパッチをステージングサーバまたはクライアントにダウンロードします。

注: CA ARCserve Backup Patch Manager では、HTTP による通信のみがサポートされています。

ステージング サーバ

ステージングサーバとして使用するサーバの HTTP ロケーションアドレスを指定します。

このオプションを選択する場合は、ステージングサーバのロケーション (IP アドレスまたはホストサーバ名) も指定する必要があります。指定したステージングサーバからクライアントにすべてのパッチ情報とダウンロードが送信されます。

注: 使用しているローカルホストマシンをステージングサーバとして指定することはできません。ローカルホストマシンをステージングサーバとして指定しても、ステージングサーバが自身に接続してパッチを取得およびダウンロードすることはできないため、この設定は無効になります。

注: ステージングサーバを設定できない場合、CA Technologies サポートサイトに直接接続できます。

[パッチを自動的にダウンロードおよびインストールする]

利用可能な CA ARCserve Backup のパッチのチェック、ダウンロード、およびインストールを自動的に行うように指定します。

注: パッチの自動ダウンロードおよびインストールは、CA ARCserve Backup の重要なパッチに対してのみ適用されます。

このオプションを選択すると、ドロップダウンメニューから、この機能を実行する日(毎日または指定した曜日)と時刻をスケジュールできます。このオプションを選択して日時を指定しなかった場合には、デフォルトで、毎日午後 3 時に自動的にダウンロードおよびインストールを実行するようスケジュールされます。

重要: パッチの自動ダウンロード/インストールにスケジュール日時を指定する際、スケジュールがほかのアクティブなスケジュール済み CA ARCserve Backup ジョブ(バックアップ、リストア、スキャン、マージ、テープコピーなど)と同時に実行されたり競合したりしないようにしてください。パッチによっては、そのインストールが原因で、CA ARCserve Backup Services がシャットダウンされる場合や、ジョブが中断される場合があります。

注: このオプションは CA ARCserve Backup Patch Manager 自身の更新については利用できません。CA ARCserve Backup Patch Manager では、以下のレジストリスイッチが提供されています。

`HKEY_LOCAL_MACHINE\SOFTWARE\ComputerAssociates\CA ARCserve Backup Patch Manager\PMDownloadFrequency`

このレジストリスイッチの値は、Patch Manager サービスの開始時刻後、いつ CA ARCserve Backup Patch Manager 用のパッチをダウンロードおよびインストールするかを示します。

[適用可能なパッチがある場合、自動的にダウンロードする]

CA ARCserve Backup のパッチが利用可能になった場合、1 日以内に自動的にダウンロードするように指定します。

注: このオプションは CA ARCserve Backup Patch Manager 自身の更新については利用できません。CA ARCserve Backup Patch Manager では、以下のレジストリスイッチが提供されています。

`HKEY_LOCAL_MACHINE\SOFTWARE\ComputerAssociates\CA ARCserve Backup Patch Manager\PMDownloadFrequency`

このレジストリスイッチの値は、Patch Manager サービスの開始時刻後、いつ CA ARCserve Backup Patch Manager 用のパッチをダウンロードおよびインストールするかを示します。

[簡易更新の無効化]

パッチの自動チェック、ダウンロード、およびインストールの機能をすべて無効にするように指定します。このオプションを選択すると、CA ARCserve Backup のこれらのパッチ機能は手動でのみ開始できます。

注: このオプションは CA ARCserve Backup Patch Manager 自身の更新については利用できません。CA ARCserve Backup Patch Manager では、以下のレジストリスイッチが提供されています。

HKEY_LOCAL_MACHINE¥SOFTWARE¥ComputerAssociates¥CA ARCserve Backup Patch Manager¥PMDownloadFrequency

このレジストリスイッチの値は、Patch Manager サービスの開始時刻後、いつ CA ARCserve Backup Patch Manager 用のパッチをダウンロードおよびインストールするかを示します。

[OK]ボタン

3 つの各タブで指定した設定をすべて保存し、[環境設定]ダイアログを閉じます。

[リセット]ボタン

[環境設定]ダイアログの各タブの設定で適用されていない(保存されていない)設定をリセットします。このボタンは、いずれかの設定が変更されて適用されていない(保存されていない)場合のみ有効になります。

[キャンセル]ボタン

3 つの各タブで適用されていない(保存されていない)設定をすべてキャンセルしてリセットし、[環境設定]ダイアログを閉じます。

[適用]ボタン

[環境設定]ダイアログの各タブで指定した設定を適用(保存)します。このボタンをクリックすると、再び設定が変更されて未適用(未保存)状態になるまで、[リセット]ボタン(および[適用]ボタン)は使用できなくなります。

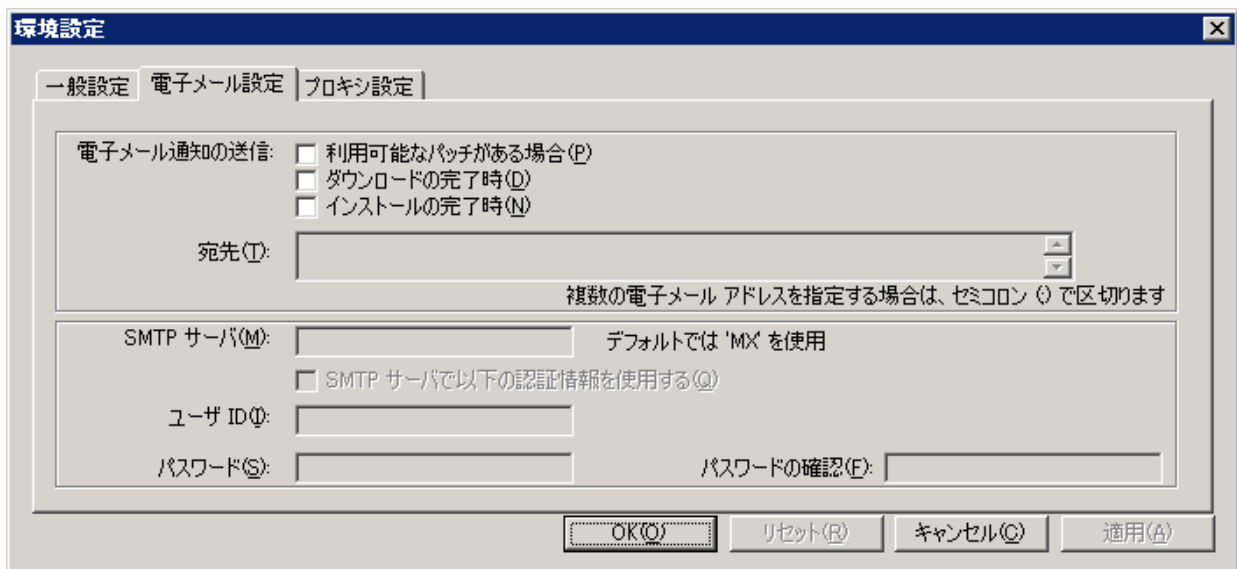
[環境設定]の[電子メール設定]について

[環境設定]ダイアログの[電子メール設定]タブでは、新しいパッチの情報を通知する方法とそのタイミングを指定できます。

電子メール通知を受信するために選択可能なオプションは以下のとおりです。

- 更新が存在するとき
- パッチのダウンロードの完了時
- パッチのインストールの完了時

複数のオプションを選択できます。電子メール アドレス(複数も可)も指定する必要があります。SMTP アドレスの指定は任意です。複数の電子メール アドレスを入力するには、各アドレスをセミコロンで区切る必要があります。



[電子メール通知の送信条件: 更新が存在するとき]

新しいパッチが利用可能になったときに電子メール通知を受信するように指定します。

[電子メール通知の送信条件: ダウンロードの完了時]

パッチのダウンロードが完了したときに電子メール通知を受信するように指定します。

[電子メール通知の送信条件: インストールの完了時]

パッチのインストールが完了したときに電子メール通知を受信するように指定します。

SMTP サーバ

CA Technologies からユーザのサーバに電子メール通知を送信するために使用する SMTP サーバのアドレスを指定します。[SMTP サーバで以下の認証情報を使用する]オプションを選択する場合は、SMTP サーバの使用に必要な認証情報(ユーザ ID とパスワード)も入力する必要があります。

サーバが指定されていない場合、デフォルトで、MX (Mail Exchange)を使用して同じドメイン内のユーザに電子メール通知を配信します。

注: MX レコードは DNS (Domain Name System)にあるリソースレコードの1つで、ドメイン内で SMTP (Simple Mail Transfer Protocol)を使用し、メール交換サーバによってインターネット電子メールをユーザヘルペティングおよび配信する方法を指定するために使用されます。

[環境設定]の[プロキシ設定]について

[環境設定]ダイアログの[プロキシ設定]タブでは、プロキシサーバ経由でパッチをダウンロードするかどうかを指定できます。このサーバは、ローカルサーバ(またはステージングサーバ)が HTTP サーバからパッチを取得する際に経由するサーバです。

The screenshot shows the 'Environment Settings' dialog box with the 'Proxy Settings' tab selected. The dialog has three tabs: 'General Settings', 'Email Settings', and 'Proxy Settings'. Under 'Proxy Settings', there are three radio button options: 'Do not use proxy server for Internet connection (N)', 'Automatically detect proxy server settings (D)', and 'Use the following proxy settings (U)'. The third option is selected. Below these are input fields for 'Proxy Server (S):' and 'Port (P):'. A checked checkbox 'Use the following authentication information for proxy server (D):' is followed by input fields for 'User ID (U):', 'Password (S):', and 'Password Confirmation (E):'. At the bottom are buttons for 'OK (O)', 'Reset (R)', 'Cancel (C)', and 'Apply (A)'.

[インターネットへの接続にプロキシ サーバを使用しない]

パッチ情報を取得するために CA Technologies サポートのインターネットサイトに接続する際にプロキシ サーバを使用しないことを指定します。代わりに (CA ARCserve Backup がインストールされている) クライアントマシンが、パッチ情報を取得するために CA Technologies サポートのインターネットサイトに直接接続します。これはデフォルトの設定です。

[プロキシ サーバの設定を自動的に検出する]

設定済みのプロキシ サーバ設定を自動的に検出して使用するよう指定します。

(プロキシ サーバの設定は、Internet Explorer の [インターネット オプション] - [接続] - [LAN の設定] ダイアログから設定および確認できます)

[以下のプロキシ設定を使用]

入力したプロキシ サーバ設定を使用するよう指定します。このオプションを選択すると、プロキシ サーバの IP アドレス (またはマシン名) およびプロキシ サーバがインターネット接続する際に使用される、対応するポート番号も指定する必要があります。

[プロキシ サーバで以下の認証情報を使用する]

プロキシ サーバを使用する際に認証情報 (ユーザ ID とパスワード) が必要となるよう指定します。設定に際して、パスワードの確認が求められます。

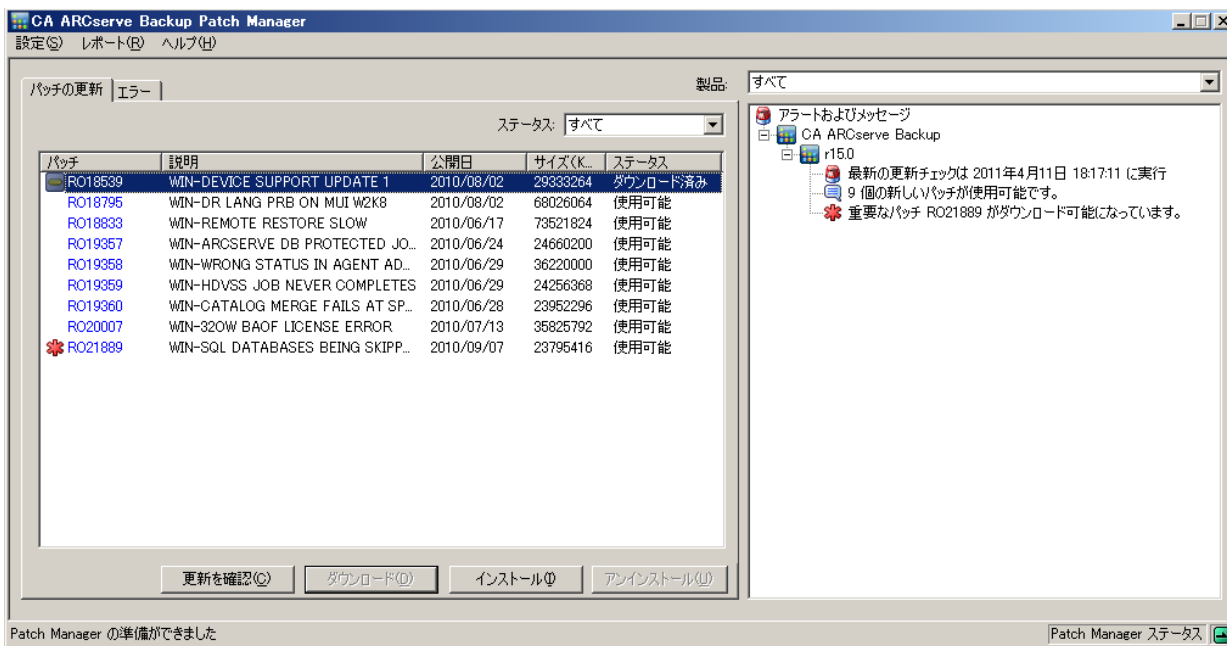
利用可能なパッチの手動によるチェック

CA ARCserve Backup Patch Manager GUI から、まだダウンロードしていない利用可能なパッチを手動でチェックできます。

利用可能なパッチのチェック

1. CA ARCserve Backup Patch Manager GUI を起動します ([すべてのプログラム]-[CA]-[ARCserve Backup Patch Manager]-[Patch Manager])。

CA ARCserve Backup Patch Manager GUI に、ダウンロードできるすべてのパッチのリストが表示されます。



2. [更新を確認]をクリックし、利用可能なパッチで、リストにないものがあるかどうかを手動でチェックします。

CA ARCserve Backup Patch Manager は、CA Technologies サポート サイトに接続し、利用可能なすべての CA ARCserve Backup パッチの比較チェックを実行して、どの利用可能なパッチが新しく、まだダウンロードされていないかを判断します。

注: Patch Manager にリスト表示された特定の CA ARCserve Backup パッチの追加情報を取得したい場合は、テクニカル サポート (<http://www.ca.com/jp/support/>) を参照してください。

- CA ARCserve Backup Patch Manager は、パッチがまだダウンロードされていないと判断すると、そのパッチに利用可能なパッチのタグを付けます。
- CA ARCserve Backup Patch Manager は、パッチがすでに正常にダウンロードされていると判断すると、物理的な場所にパッチが存在するかどうかを確認します。
 - 物理的なファイルが存在せず、インストールされていない場合、そのパッチは新しいパッチまたは利用可能なパッチとしてタグが付けられます。
 - パッチ ファイルが物理的な場所に (正しいチェックサムとファイル名で) 存在する場合、そのパッチはダウンロード済みパッチとしてタグが付けられます。
 - パッチ ファイルは存在しても、そのパッチのファイル名とチェックサムの値が同じファイルと一致しない場合、そのパッチには利用可能なパッチのタグが付けられません。

手動によるパッチのダウンロード

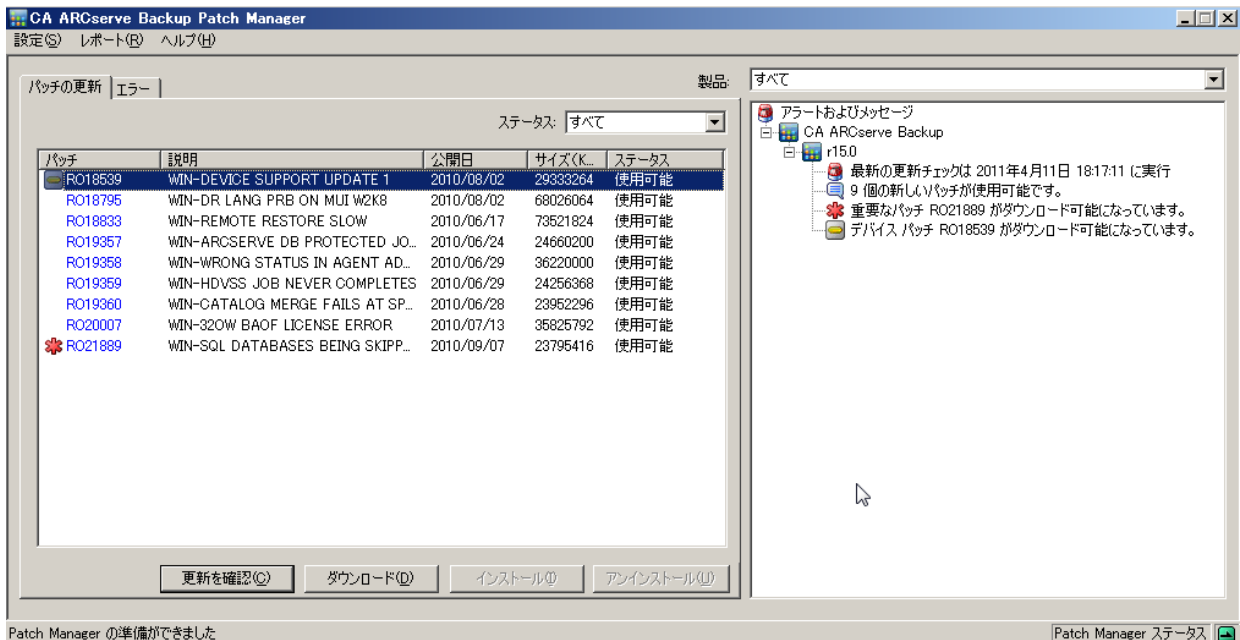
利用可能なパッチは、CA ARCserve Backup Patch Manager GUI を使用して手動でダウンロードできます。

パッチのダウンロード

1. CA ARCserve Backup Patch Manager GUI を起動します ([すべてのプログラム]-[CA]-[ARCserve Backup Patch Manager]-[Patch Manager])。

CA ARCserve Backup Patch Manager GUI に、ダウンロードできるすべてのパッチのリストが表示されます。[パッチの更新] ペインには、リストされているすべてのパッチのパッチ ID、説明、日付、サイズ(KB)、ステータスが表示されます。

注: Patch Manager にリスト表示された特定の CA ARCserve Backup パッチの追加情報を取得したい場合は、テクニカル サポート (<http://www.ca.com/jp/support/>) を参照してください。

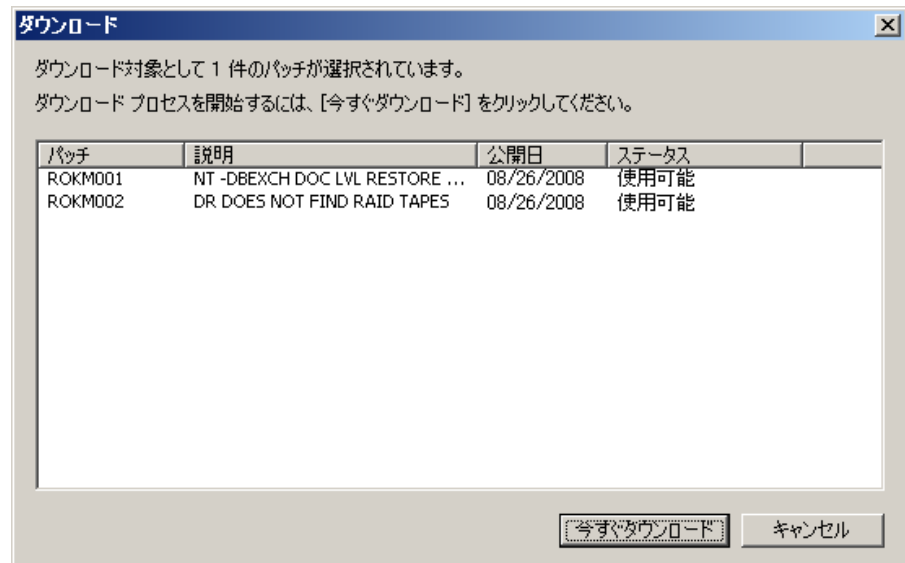


2. ダウンロードするパッチを選択し、[ダウンロード]をクリックします。

注: ダウンロードまたはインストールするパッチを複数選択するには、Ctrl キーまたは Shift キーの組み合わせを使用します。ただし、複数のパッチの選択は、選択するすべてのパッチのステータス(利用可能、ダウンロード済み、またはインストール済み)が同じ場合のみ機能します。複数のダウンロード/インストールは、同時ではなく、順番に実行されます(前提条件パッチに基づく)。

CA ARCserve Backup Patch Manager は、ダウンロードが必要な依存パッチが、選択したパッチにないかどうかをまずチェックします。ダウンロード時に依存関係をチェックする目的は、利用可能なすべての依存パッチがダウンロード済みまたはインストール済みであることを確認することです(ダウンロードするパッチが選択されると、その依存パッチが選択されていない場合でも、CA ARCserve Backup Patch Manager は自動的にすべての依存パッチを選択してダウンロードします)。

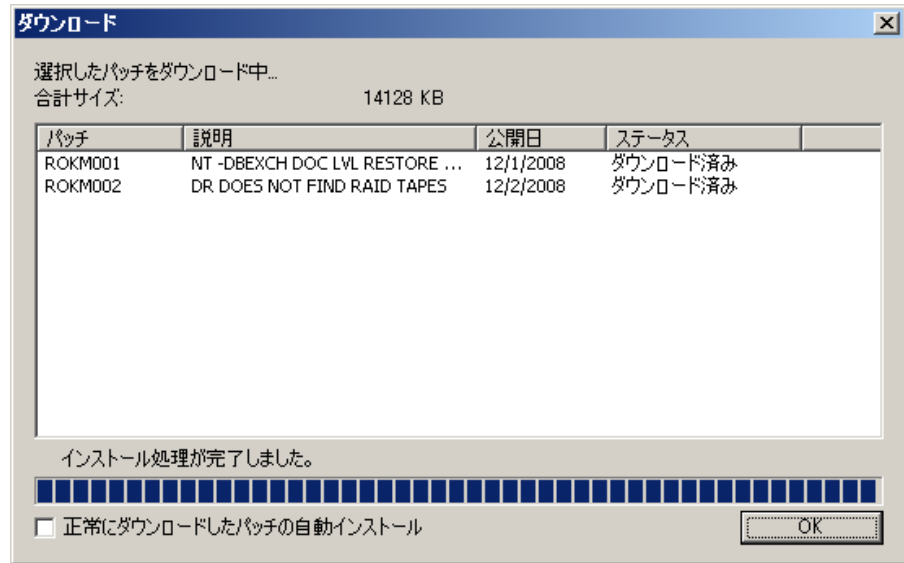
[依存関係]画面に、ダウンロードするように選択したパッチとそれらの依存パッチがリストされます。



3. [今すぐダウンロード]をクリックし、利用可能なパッチをダウンロードします。
[ダウンロード]画面に、パッチのダウンロードステータスが表示されます。

注：デフォルトでは、次のフォルダにパッチがダウンロードされます：

X:\Program Files\CA\SharedComponents\capm



4. [OK]をクリックして[ダウンロード]画面を閉じます。

ダウンロードプロセス中に、選択しているパッチをダブルクリックすると、現在のステータス(進捗率)が表示されます。

ダウンロードプロセスが完了すると、パッチ/更新のダウンロードレポートが更新され、[パッチの更新]ペインのパッチのステータスが「ダウンロード済み」になります。ダウンロード済みパッチは、指定した Patch Manager のダウンロードフォルダに保存されます。これらのパッチは、インストール後も削除されません。

パッチのダウンロードが完了すると、電子メール通知が送信されます(設定している場合)。

5. 以下のいずれかの状況が生じると、パッチのダウンロードは失敗することがあります。

- 「利用可能」と表示されているパッチが、ステージング サーバに存在しない。
- ダウンロードフォルダに十分な空き容量がない。
- ネットワークの障害
- ボリュームクォータの障害

ダウンロードが失敗した場合は、[エラー]タブおよび `APMLog.log` ファイルを確認して、考えられる原因と詳細を調べます。

手動によるパッチのインストール

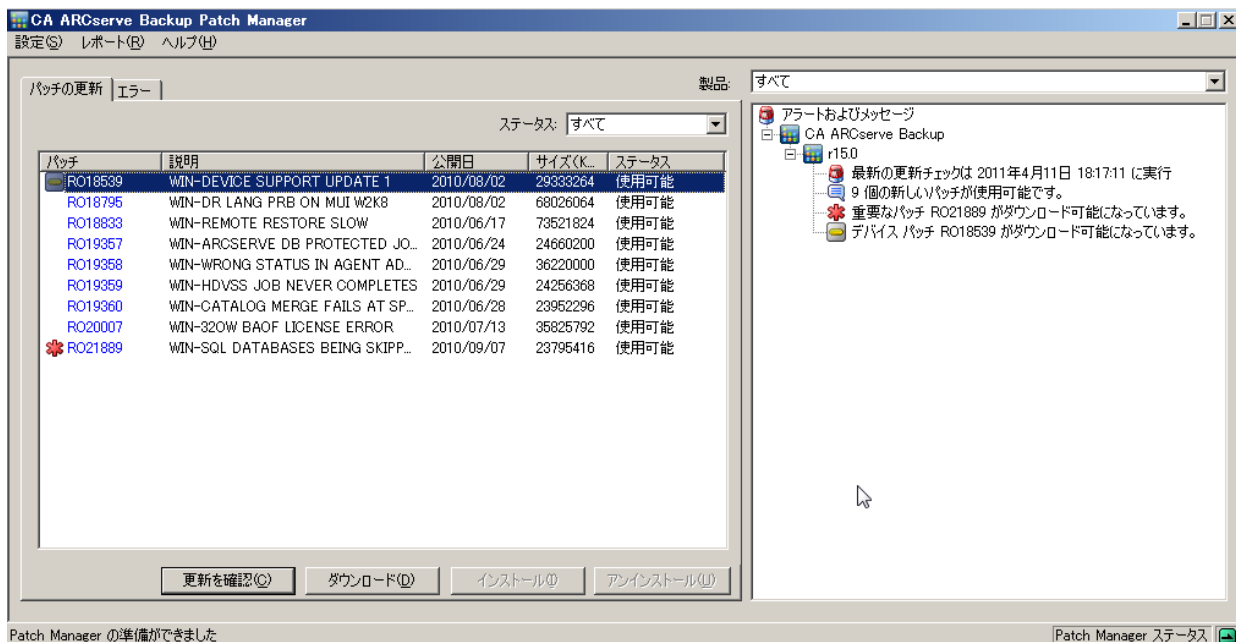
CA ARCserve Backup Patch Manager GUI から、すでにダウンロードしているパッチを手動でインストールできます。

パッチのインストール

1. CA ARCserve Backup Patch Manager GUI を起動します ([すべてのプログラム]-[CA]-[ARCserve Backup Patch Manager]-[Patch Manager])。

CA ARCserve Backup Patch Manager GUI に、インストールできるダウンロード済みパッチがすべてリスト表示されます。[パッチの更新] ペインには、リストされているすべてのパッチのパッチ ID、説明、日付、サイズ (KB)、ステータスが表示されます。

注: Patch Manager にリスト表示された特定の CA ARCserve Backup パッチの追加情報を取得したい場合は、テクニカル サポート (<http://www.ca.com/jp/support/>) を参照してください。



2. インストールするパッチを選択し、[インストール]をクリックします。

注: ダウンロードまたはインストールするパッチを複数選択するには、Ctrl キーまたは Shift キーの組み合わせを使用します。ただし、複数のパッチの選択は、選択するすべてのパッチのステータス(利用可能、ダウンロード済み、またはインストール済み)が同じ場合のみ機能します。複数のダウンロード/インストールは、同時ではなく、順番に実行されます(前提条件パッチに基づく)。

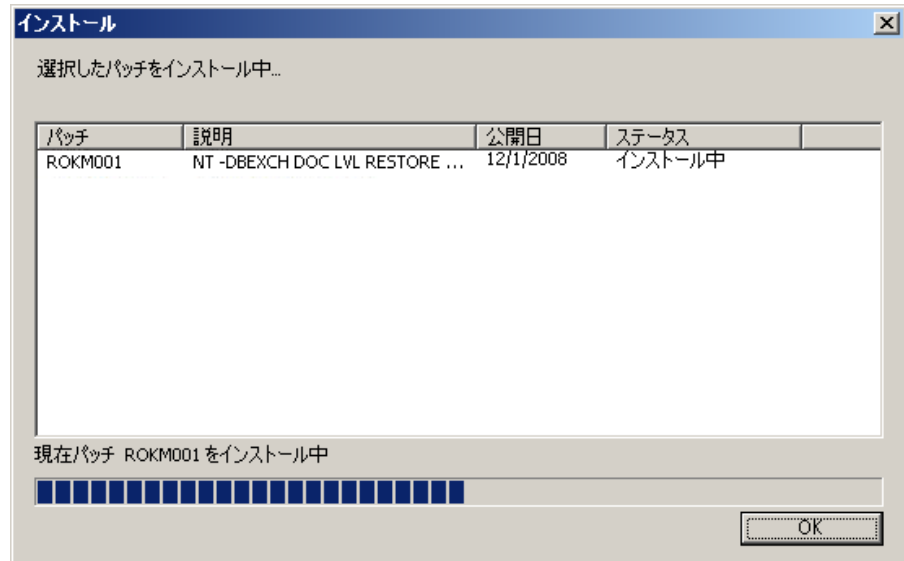
CA ARCserve Backup Patch Manager は、インストールが必要な依存パッチが、選択したパッチにないかどうかをまずチェックします。パッチのインストール時に依存関係をチェックする目的は、利用可能なすべての依存パッチが正常にインストール済みまたはダウンロード済みであることを確認することです。

[依存関係]画面に、インストールするように選択したパッチとそれらの依存パッチのリストが表示されます。

- すべての依存パッチがすでにダウンロードおよびインストールされている場合は、選択したパッチのインストールプロセスが続行されます。
- 依存パッチがまだダウンロードされていない場合は、依存パッチが必要であることを示すエラーメッセージが表示され、インストールプロセスは中断されます。



3. [今すぐインストール]をクリックし、パッチをインストールします。
[インストール]画面に、パッチのインストール ステータスが表示されます。



4. [OK]をクリックして[インストール]画面を閉じます。
インストール プロセス中に、選択しているパッチをダブルクリックすると、現在のステータス(進捗率)が表示されます。
パッチのインストールプロセスが完了すると、パッチ/更新のインストールレポートが更新され、[パッチの更新]ペインのパッチのステータスが「インストール済み」になります。ダウンロード済みパッチは、指定した **Patch Manager** のダウンロードフォルダに保存されます。これらのパッチは、インストール後も削除されません。
5. パッチのインストールが完了すると、電子メール通知が送信されます(設定している場合)。
6. パッチのインストールを有効にするために再起動が必要な場合は、すぐに再起動するかどうかを指定するメッセージが表示されます。
7. パッチ インストールが失敗した場合は、[エラー]タブおよび **APMLog.log** ファイルを確認して、考えられる原因と詳細を調べます。

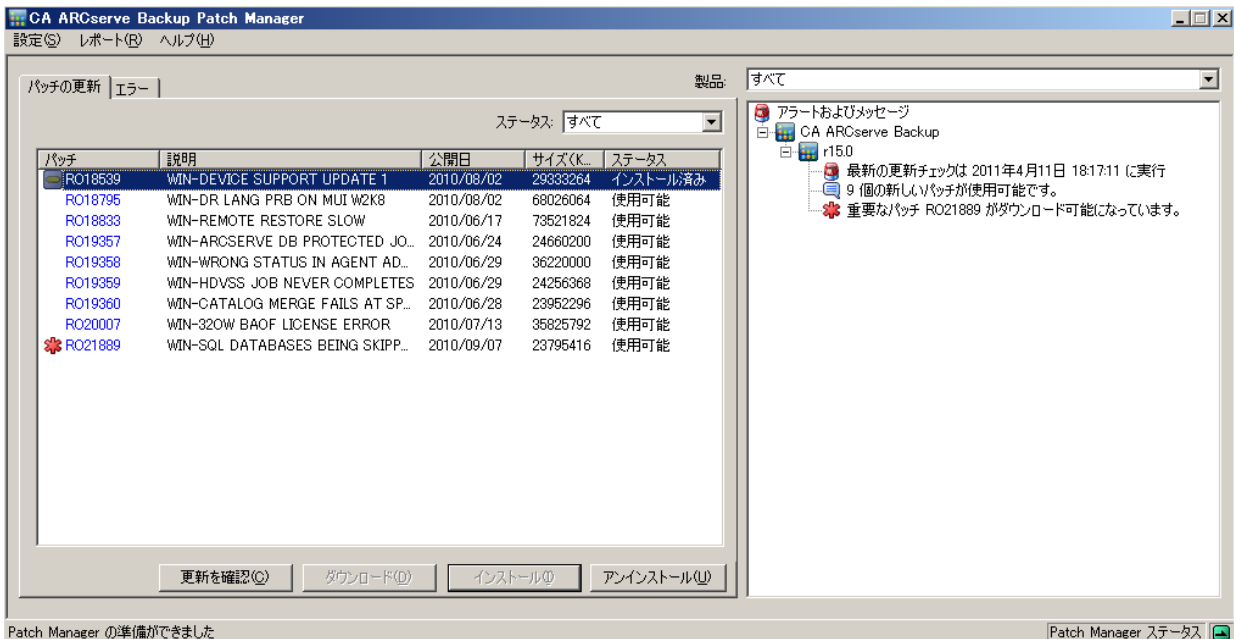
手動によるパッチのアンインストール

CA ARCserve Backup Patch Manager GUI から、すでにインストールしているパッチを手動でアンインストールできます。パッチのアンインストールは、GUI から手動でのみ開始できます (パッチのアンインストールの自動スケジュールはサポートされていません)。さらに、アンインストールするパッチは 1 つずつしか選択できません (アンインストールでは、複数のパッチの選択はサポートされていません)。

パッチのアンインストール

1. CA ARCserve Backup Patch Manager GUI を起動します ([すべてのプログラム]-[CA]-[ARCserve Backup Patch Manager]-[Patch Manager])。

CA ARCserve Backup Patch Manager GUI に、アンインストールできるインストール済みのすべてのパッチのリストが表示されます。

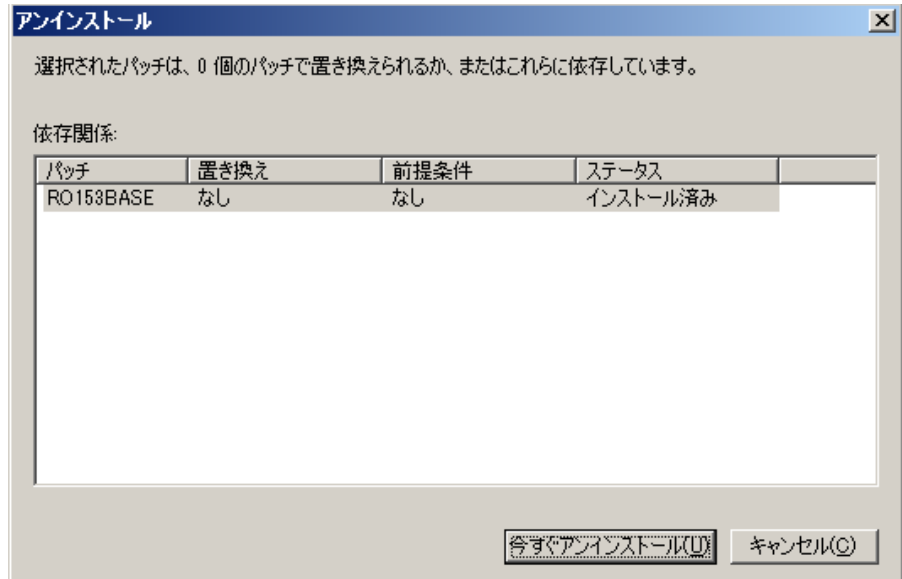


2. アンインストールするパッチを選択し、[アンインストール]ボタンをクリックします。

CA ARCserve Backup Patch Manager は、アンインストールが必要な依存パッチが、選択したパッチにないかどうかをまずチェックします。

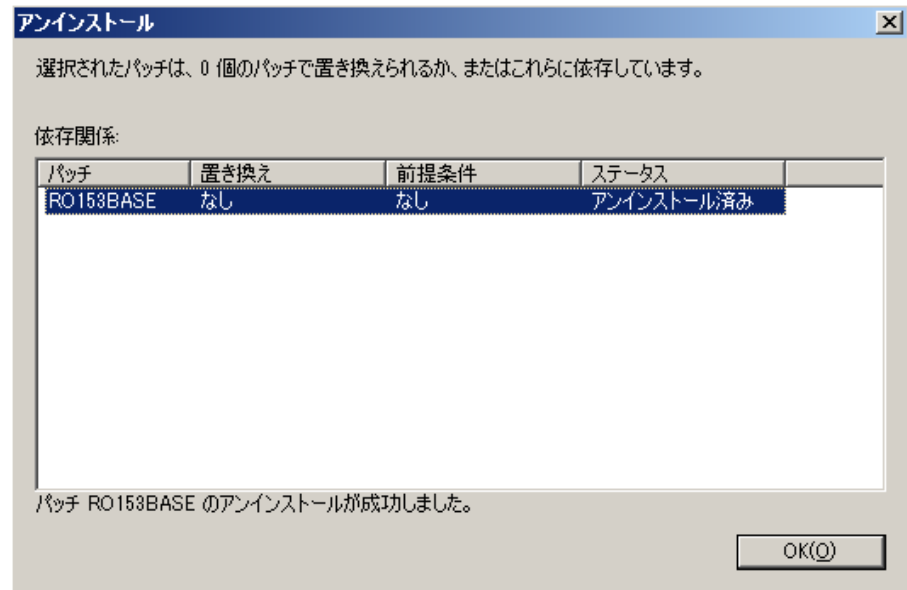
[依存関係]画面に、アンインストールするように選択したパッチとそれらの依存パッチのリストが表示されます。

- すべての依存パッチがすでにアンインストールされている場合は、選択されたパッチのアンインストールプロセスが続行されます。
- 依存パッチがまだアンインストールされていない場合は、依存パッチがインストールされたままであることを示すエラーメッセージが表示され、アンインストールプロセスは中断します。



3. [今すぐアンインストール]をクリックし、パッチをアンインストールします。
[アンインストール]画面に、パッチのアンインストール ステータスが表示されます。

注: [アンインストール]画面に表示されているパッチを1つも選択せずに [今すぐアンインストール]ボタンをクリックすると、[いずれかのパッチを選択してから、アンインストールしてください。]というポップアップ ウィンドウが表示されます。



4. [OK]をクリックして[アンインストール]画面を閉じます。
アンインストール処理が完了すると、そのパッチのエントリは、パッチ/更新のインストール現在レポートから削除され、パッチ/更新のインストール履歴レポートに「アンインストール済み」のステータスで追加されます。[パッチの更新]ペインのパッチ ステータスは[ダウンロード済み]になります。
重要: CA ARCserve Backup Patch Manager では、履歴ファイルを保存しておき、対象パッチがインストールされているかどうかを判別します。そのため、パッチのステータスが正しく記録されるように、パッチのアンインストールには必ず CA ARCserve Backup Patch Manager を使用してください。
5. パッチのアンインストールが失敗した場合、[エラー]タブを確認して、APMlog.log に記録されている、可能性のある原因と詳細を調べます。

パッチの自動ダウンロードおよびインストール

CA ARCserve Backup Patch Manager GUI を使用して、新しいパッチのチェック、CA Technologies サポートのインターネット サイトからのパッチのダウンロード、ダウンロード済みパッチのシステムへのインストールを自動で実行できます。(パッチの自動アンインストールはサポートされていないため、GUI から手動でトリガする方法しかありません)。

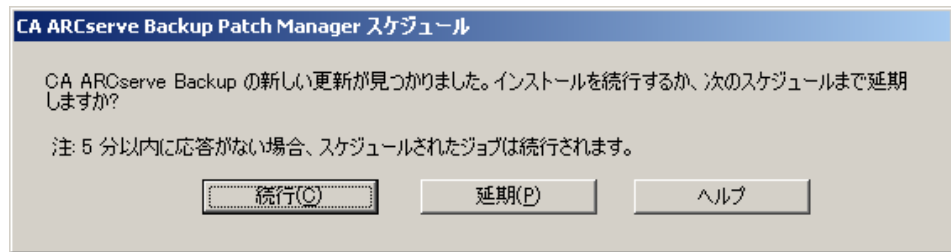
注: パッチの自動ダウンロードおよびインストールは、CA ARCserve Backup の重要なパッチに対してのみ適用されます。

注: CA ARCserve Backup Patch Manager のパッチはすべて重要なパッチとみなされます。

これらのタスクを CA ARCserve Backup Patch Manager で自動的に実行するプロセスは手動で実行する場合と同じですが、どのタスクも事前に設定された日時にトリガされる点が異なります。これらの自動機能の設定は、CA ARCserve Backup Patch Manager のインストール プロセス中に指定できるほか、CA ARCserve Backup Patch Manager のインストール後は[環境設定]ダイアログから指定できます。[環境設定]ダイアログの詳細については、[「\[環境設定\]ダイアログについて」](#) (P. 57)を参照してください。

ただし、パッチが CA ARCserve Backup エージェント用のもので、対象マシンにエージェントがインストールされていない場合、パッチの自動ダウンロードおよびインストールのプロセス中に、インストール エラーが発生します。たとえば、CA ARCserve Backup Patch Manager でパッチの自動ダウンロードおよびインストールが設定されていて、CA Technologies サポート サイトで Agent for Oracle の新しいパッチが利用可能になった場合、CA ARCserve Backup Patch Manager は自動的にこの Oracle パッチを対象マシンにダウンロードおよびインストールしようとします。このとき対象マシンに Oracle 関連のコンポーネントがインストールされていないと、インストールの失敗に関するエラーが報告されます。

CA ARCserve Backup Patch Manager がパッチを自動的にダウンロード/インストールするように設定している場合、新しいパッチが利用可能になると、処理を続行するか、次のスケジュールに延期するかのをいずれかを選択するように求められます。5 分以内に確認メッセージに応答しないと、ジョブが続行されます。



電子メール通知を設定している場合は、パッチの自動ダウンロードおよびインストールが完了したときに、電子メール通知が送信されます。

パッチのインストールによって再起動が必要になった場合は、以下の処理が実行されます。

- 電子メール通知が有効になっていれば、その状況について電子メールで通知されます。その場合、パッチのインストール後に、手動でマシンを再起動する必要があります。
- 電子メール通知が有効になっていなければ、**APMLog.log** でパッチのステータスを確認する必要があります。再起動が必要な場合は、そのパッチにはマシンの再起動が必要であることがログファイルに示されます。その場合、パッチのインストール後に、手動でマシンを再起動する必要があります。

第 4 章: CA ARCserve Backup Patch Manager のトラブルシューティング

このセクションには、以下のトピックが含まれています。

[トラブルシューティングの概要 \(P. 79\)](#)

[Patch Manager のトラブルシューティング \(P. 80\)](#)

トラブルシューティングの概要

問題が検出されると、問題の特定や解決に役立つメッセージが、CA ARCserve Backup Patch Manager によって生成されます。これらのメッセージは、Patch Manager アクティビティログ (APMLog.log) または Patch Manager UI ログ (CAPMUILog.log) に記録され、X:Program Files¥CA¥SharedComponents¥APM¥Patch Manager で確認することができます。

対処しようとする方法が正しくない場合、通常 CA ARCserve Backup Patch Manager は、問題の特定や迅速な解決に役立つポップアップメッセージを表示します。



さらに、CA ARCserve Backup Patch Manager GUI の[エラー]ペインからも、対応するパッチの関連エラーを表示できます。

Patch Manager のトラブルシューティング

このセクションでは、CA ARCserve Backup Patch Manager の代表的な問題と、その原因および解決策について説明します。

ネットワーク エラーのトラブルシューティング

HTTP サービス(ステージング サーバ)がダウンしている、または利用できない。

- HTTP サービスを開始します。
- 詳細を、APMLog.log ファイルで確認します。

ネットワークに接続していない。

- ネットワークに接続します。
- 詳細を、APMLog.log ファイルで確認します。

接続がタイムアウトした。

- 再度ネットワークに接続を試みます。
- 必要な HTTP サービスが起動され、実行中であることを確認します。
- 詳細を、APMLog.log ファイルで確認します。

サービス エラーのトラブルシューティング

CA ARCserve Backup Patch Manager Service が開始されていない。

- CA ARCserve Backup Patch Manager Service を開始します。
- 詳細を、APMLog.log ファイルで確認します。

CA ARCserve Backup Patch Manager Service がインストールされていない。

- CA ARCserve Backup Patch Manager Service をインストールし、開始します。
- 詳細を、APMLog.log ファイルで確認します。

環境設定エラーのトラブルシューティング

APMSettings.Ini ファイルが存在しないか、破損している。

- 製品を再インストールします。
- 詳細を、APMLog.log ファイルで確認します。

注: APMSettings.Ini ファイルは次のディレクトリにあります。X:*Program Files*¥CA¥SharedComponents¥APM¥Patch Manager

APMclient.Xml ファイルが存在しないか、破損している。

- 製品を再インストールします。
- 詳細を、APMLog.log ファイルで確認します。

注: APMclient.Xml ファイルは次のディレクトリにあります。X:*Program Files*¥CA¥SharedComponents¥APM¥Patch Manager

AlreadyDownloadedPatchinfo.Xml ファイルが存在しないか、破損している。

- 製品を再インストールします。
- 詳細を、APMLog.log ファイルで確認します。

注: AlreadyDownloadedPatchinfo.Xml ファイルは、次のディレクトリにあります。X:*Program Files*¥CA¥SharedComponents¥APM¥Patch Manager¥CA *ARCserve Backup* または X:*Program Files*¥CA¥SharedComponents¥APM¥Patch Manager¥CA *ARCserve Backup Patch Manager*

再試行のタイムアウト

- APMSettings.INI ファイルで再試行のオプション値を変更します。
[DOWNLOADCONFIG]
RetryCount=
デフォルトの試行回数は 3 です。指定できる試行数の範囲は、1 ～ 5
です。
TimeOutForEachTry=
分単位で指定します。デフォルト値は 60 分です。
PacketCount=
デフォルトのパケット数は 16 です。各パケットのサイズは、1 KB です。
指定できるパケット数の範囲は、4 ～ 64 です。
- 詳細を、APMLog.log ファイルで確認します。

パッチ ダウンロードの失敗

ネットワーク エラー

[「ネットワーク エラーのトラブルシューティング」](#) (P. 80)を参照してください。

サービス エラー

[「サービス エラーのトラブルシューティング」](#) (P. 80)を参照してください。

環境設定エラー

[「環境設定エラーのトラブルシューティング」](#) (P. 81)を参照してください。

ディスク容量の不足

- ディスク空き容量を増やします。
- ダウンロード ロケーションを別のドライブに設定し、既存の capm フォルダを新しく設定した場所にコピーします。

注: デフォルトでは、次のフォルダにパッチがダウンロードされます:

X:¥Program Files¥CA¥SharedComponents¥capm

以下のレジストリ キーを新しいロケーションに更新します。

HKEY_LOCAL_MACHINE¥SOFTWARE¥ComputerAssociates¥CA ARCserve Backup Patch Manager¥PATCHESROOT

- 詳細を、APMLog.log ファイルで確認します。

[更新を確認]の失敗

詳細を、APMLog.log ファイルで確認します。

ネットワーク エラー

[「ネットワーク エラーのトラブルシューティング」](#) (P. 80)を参照してください。

サービス エラー

[「サービス エラーのトラブルシューティング」](#) (P. 80)を参照してください。

環境設定エラー

[「環境設定エラーのトラブルシューティング」](#) (P. 81)を参照してください。

パッチ インストールの失敗

サービス エラー

[「サービス エラーのトラブルシューティング」](#) (P. 80)を参照してください。

電子メール通知が届かない

- 正しい電子メール通知設定オプションが適用できているか確認します。詳細については、[「\[環境設定\]の\[電子メール設定\]について」](#) (P. 61)を参照してください。
- SMTP サーバ名などのフィールドに入力した認証情報が正しいことを確認します。
- 詳細を、Patch Manager のホームフォルダにある SMTP.LOG で確認します。
- 電子メール アドレスを確認します。
- 問題が解決しない場合は、CA Support (<http://ca.com/jp/support>) にアクセスして、テクニカル サポートの所在地とサービス時間、電話番号をご確認ください。

インストール時に、[クライアント]オプションまたは[ステージング サーバ]オプションが無効になっている

- [クライアント]オプションは、CA ARCserve Backup for Windows (r12 SP2 以降)、またはその Windows プラットフォーム オプションの 1 つがシステムにインストールされている場合にのみ、有効になります。
- [ステージング サーバ]オプションは、Microsoft Internet Information Services (IIS) 6.0 以降がインストールされ、HTTP サイトが設定されている場合にのみ、有効になります。

[パッチを自動的にダウンロードおよびインストールする]オプションを選択しているのに、パッチ インストールに失敗する

パッチを自動的にダウンロードおよびインストールするオプションが選択されている場合、CA ARCserve Backup Patch Manager はダウンロード済みのすべてのパッチのインストールを試みます。1 つ以上のパッチが特定のコンポーネントのためのもので、そのコンポーネントがシステムにインストールされていない場合は、パッチ インストールは失敗し、失敗のステータスを返します。

CA ARCserve Backup Patch Manager によって、CA ARCserve Backup のジョブが失敗する

重要: パッチの自動ダウンロード/インストールにスケジュール日時を指定する際、スケジュールがほかのアクティブなスケジュール済み CA ARCserve Backup ジョブ (バックアップ、リストア、スキャン、マージ、テープコピーなど) と同時に実行されたり競合したりしないようにしてください。パッチによっては、そのインストールが原因で、CA ARCserve Backup Services がシャットダウンされる場合や、ジョブが中断される場合があります。

- CA ARCserve Backup ジョブのスケジュールが CA ARCserve Backup Patch Manager の自動インストールのスケジュールと競合していないことを確認します。CA ARCserve Backup Patch Manager では、パッチのダウンロードおよびインストールの自動スケジュール時刻に、ほかにアクティブなジョブや実行中の CA ARCserve Backup 処理があるかどうかをチェックしません。
- 問題が解決しない場合は、CA Support (<http://ca.com/jp/support>) にアクセスして、テクニカル サポートの所在地とサービス時間、電話番号をご確認ください。

パッチ ダウンロード時に、無効な署名エラーが報告される

選択したパッチがまだ CA Technologies サポート サーバにアップロードされていません。CA ARCserve Backup Patch Manager では、受け取ったパッチが正規のものであるかどうかを確認します。この確認が特定のパッチで失敗した場合、そのモジュールは削除され、ダウンロードは失敗となり、無効な署名が検出されたことを報告する[問題の原因]が表示されます。

[更新を確認]が何度も失敗する

- パッチダウンロード用として選択したサーバが正しく設定されていることを確認します。詳細については、「[\[環境設定\]の\[一般設定\]について](#)」(P. 57)を参照してください。
- CA Technologies サポートサーバから直接パッチをダウンロードするオプションを選択している場合は、Patch Manager のログ (APMLog.log)を参照します。
- ステージングサーバからパッチをダウンロードするオプションを選択している場合は、そのステージングサーバ上にあるデフォルトの Web サイトを参照できるかどうかを確認します。

デフォルトの Web サイトを参照できない場合、IIS のインストールが不完全であるか適切でない可能性があります。IIS が正しくインストールされていることを確認してください。

- CA ARCserve Backup Patch Manager がプロキシ設定を使用するよう設定されている場合は、プロキシの認証情報が正しく入力されていることを確認します。詳細については、「[\[環境設定\]の\[プロキシ設定\]について](#)」(P. 62)を参照してください。
- ステージングサーバからパッチをダウンロードするオプションを選択している場合は、そのステージングサーバが適切なポートを使用して通信していることを確認します。ポート番号が正しくない場合、エージェント側で以下の手順を実行します。
 1. APMSettings.ini ファイルを開きます。

注: APMSettings.Ini ファイルは以下のディレクトリにあります。

```
X:\Program Files\CA\SharedComponents\APM\Patch Manager
```
 2. [DownloadServer] の下で、ポートの値を、ステージングサーバが使用している正しいポート番号に変更します。
- 問題が解決しない場合は、CA Support (<http://ca.com/jp/support>) にアクセスして、テクニカルサポートの所在地とサービス時間、電話番号をご確認ください。

CA ARCserve Backup Patch Manager が、ステージング サーバとしてインストールされているか、クライアントとしてインストールされているかわからない

CA ARCserve Backup Patch Manager GUI から、ヘルプ メニューにアクセスし、[バージョン情報]を選択します。

「This is a Staging Server」というメッセージが表示されれば、CA ARCserve Backup Patch Manager はステージング サーバとしてインストールされています。このメッセージが表示されなければ、クライアントとしてインストールされていることとなります。

CA ARCserve Backup Patch Manager が自動的に自己更新を実行しているかどうかわからない

CA ARCserve Backup Patch Manager GUI から、ヘルプ メニューにアクセスし、[バージョン情報]を選択します。

現在インストールされているビルド番号を確認して、CA ARCserve Backup Patch Manager が更新されているかどうかを判断します。

以前インストールしたパッチが CA ARCserve Backup Patch Manager にリスト表示される

パッチを手動でインストールし、その後 CA ARCserve Backup Patch Manager をインストールした場合は、以前インストールした発行済みパッチは Patch Manager GUI にリスト表示されます。

インストールの前に、パッチの説明が欲しい

インストールする前に、特定のパッチに関する詳しい説明や追加情報が必要な場合は、テクニカル サポート(<http://www.ca.com/jp/support/>)にアクセスし、オンラインの技術サポートを利用してください。

Patch Manager のアップグレード中に環境設定がリストアされない

CA ARCserve Backup Patch Manager のアップグレード中に環境設定がリストアされなかった場合、以下の手順に従って、手動で APMsettings.INI と PU.dat のファイルを元の場所にコピー (リストア) できます。

1. 以下の場所から APMsettings.INI と PU.dat のファイルをコピーします。
「ProgramFiles¥CA¥SharedComponents¥capm¥capmconfig.F86757112A4542daB576BC34469DBDD1」
2. コピーされたこれらの APMsettings.INI と PU.dat のファイルを以下の場所にリストアします。
「ProgramFiles¥CA¥SharedComponents¥capm¥PatchManager」

注: 64 ビット マシンでは、「ProgramFiles」は「Program Files (x86)」に置き換えられます。

Patch Manager のアップグレード中にパッチ情報がリストアされない

CA ARCserve Backup Patch Manager のアップグレード中に、パッチ情報がリストアされなかった場合、以下の手順に従って、手動でパッチ情報を元の場所にコピー (リストア) できます。

1. 以下の場所から AlreadyDownloadedPatchInfo.xml ファイルをコピーします。

「ProgramFiles¥CA¥SharedComponents¥capm¥capmconfig.F86757112A4542daB576BC34469DBDD1」

2. コピーされたこの AlreadyDownloadedPatchInfo.xml ファイルを以下の場所にリストアします。

「ProgramFiles¥CA¥SharedComponents¥capm¥PatchManager¥CA ARCserve Backup」

3. 「capm.F86757112A4542daB576BC34469DBDD1」の名前を以下のレジストリキーから解決されるパスと同じパス内にある「capm」に変更します。

「HKEY_LOCAL_MACHINE¥SOFTWARE¥ComputerAssociates¥CA ARCserve Backup Patch Manager¥PATCHESROOT」

例: 「HKEY_LOCAL_MACHINE¥SOFTWARE¥ComputerAssociates¥CA ARCserve Backup Patch Manager¥PATCHESROOT」のレジストリキー値が、C:¥Program Files¥CA¥SharedComponents¥capm である場合は、
「C:¥Program Files¥CA¥SharedComponents¥capm.F86757112A4542daB576BC34469DBDD1」から「C:¥Program Files¥CA¥SharedComponents¥capm」にフォルダの名前を変更します。

注: 64 ビット マシンでは、「ProgramFiles」は「Program Files (x86)」に置き換えられます。

用語集

クライアント

クライアントは、1 つ以上のマシン/サーバ上に展開され、指定したステージングサーバまたは CA サーバのいずれかと通信します。

サービスパック

サービスパックは、製品のメンテナンス用の更新を提供する方法です。製品の最新の正式なリリース以降、最近の特定時点までのパッチが累積されています。サービスパックを使えば、それまでに発行されたすべてのパッチとサービスパックを個別にインストールする必要がなくなります。

スーパーシード パッチ

スーパーシード パッチは、別のパッチを新しいバージョンで置き換えた修正です。

ステージング サーバ

ステージング サーバは、ダウンロードしたパッチを CA ARCserve Backup クライアントにインストールする前に、一時的に保存する場所として使用するサーバです。ステージング サーバ機能によって、CA サーバに接続してパッチをローカルにダウンロードするサーバを設定できます。ほかのマシン/サーバがインターネットへのアクセス権を持っていなかったり、CA サーバに直接接続させたくないような場合に、設定したステージング サーバにローカルで接続させて、そこからパッチをダウンロードすることができます。ステージング サーバは、パッチが必要なすべてのクライアントのためのローカルリポジトリであり、クライアントは設定したサーバにローカルで接続することですばやく安全にパッチを取得できます。

セキュリティパッチ

セキュリティパッチは、製品に重大なセキュリティ上の脆弱性があると報告されている問題を解決するための修正です。

チェックサム

チェックサムは、データの保全性を保護する際に使用される、エラー検出を使った簡単な冗長性の確認です。チェックサムは、保存または伝送されたデータの合計値のことをいいます。データがストレージから取り出された際、または送信先で受信された際に、チェックサムの値が新たに計算され、元のチェックサム値と比較されます。一致しなければエラーが発生していることとなります。

テストパッチ

テストパッチ (またはテスト修正) は、報告されている製品の欠陥や問題を修正できることが確認されているパッチ用の分類です。CA のテクニカル サポートによる配布は、問題をレポートしたユーザーに限定され、すべての既存ユーザーが一般的に利用できるわけではありません。テストパッチは、Patch Manager GUI の [パッチの更新] ペインに表示されません。テストパッチが必要な場合は、テクニカル サポート (<http://www.ca.com/jp/support/>) へお問い合わせのうえ、取得してください。

デバイスパッチ

デバイスパッチは、CA ARCserve Backup と共に使用する新たなデバイスをサポートするためにリリースされる修正です。

パッチ

パッチは、製品の機能やセキュリティを修正または強化するように作成されたファイルの小規模なセットです。

簡易更新

簡易更新は、CA が発行するすべての重要なパッチのダウンロードおよびインストールプロセスを自動実行するための Patch Manager の環境設定セクションです。

個別パッチ

個別パッチは、確認されている問題に対する修正で、テストパッチによって対処が確認できた製品欠陥にのみ対処します。各個別パッチは累積され、次に提供される累積パッチまたはサービスパックにまとめて置き換えられます。

重要なパッチ

重要なパッチは、影響が大きく広範囲に及ぶ問題の修正です。重要なパッチは、ほとんどの環境で製品の動作にとって重要なソフトウェア修正です。ほとんどの場合、ハイパーパッチと同じです。

前提条件パッチ

前提条件パッチは、別のパッチを適用する前に適用する必要がある修正です。たとえば、パッチ A がパッチ B の前提条件パッチの場合、パッチ A はパッチ B をインストールする前にインストールする必要があります。

発行済みパッチ

発行済みパッチ(または発行済み修正)は、報告されている製品の欠陥や問題を修正できることが確認されているパッチ用の分類で、通常、すべてのユーザーが利用できます。発行済みパッチ(テスト修正は含みません)のみが[パッチの更新]ペインに表示されます。発行済みパッチは、CAのテクニカルサポート(<http://www.ca.com/jp/support/>)からダウンロードできます。

累積パッチ

累積パッチは、複数の製品エレメントやコンポーネントに影響する複数の個別パッチを1つのパッチに統合し、発行して、既存の環境に適用するようにまとめて提供する方法です。各累積パッチは累積され、次に提供される累積パッチまたはサービスパックにまとめて置き換えられます。

索引

C

CA サーバ設定 - 57

G

GUI について - 48

P

Patch Manager Services - 12

Patch Manager のアンインストール - 46

Patch Manager のインストール

アンインストール - 46

インストール後 - 45

オプション - 33

更新の種類を選択 - 37

サーバの種類を選択 - 34

サイレントインストール - 33

前提条件 - 29

手順 - 30

電子メール通知の種類を選択 - 39

リモートインストール - 32

リモートインストールを実行するコンピュータ
の選択 - 42

ローカル インストール - 31

Patch Manager のインストール オプション

更新の種類を選択 - 37

サーバの種類を選択 - 34

電子メール通知の種類を選択 - 39

リモートインストールを実行するコンピュータ
の選択 - 42

Patch Manager のコンポーネント

GUI - 12

Patch Management Services - 12

Patch Manager の動作

概要 - 15

電子メール通知 - 27

パッチのアンインストール - 26

パッチのインストール - 23

パッチのインポート - 25

パッチのダウンロード - 20

利用可能なパッチのチェック - 17

レポートの生成 - 28

Patch Scheduler - 12

あ

[アラートおよびメッセージ] ペイン - 48

[アンインストール] ボタン - 48

[一般設定] タブ - 57

インストール後 - 45

[インストール] ボタン - 48

[エラー情報] ペイン - 48

か

ガイドライン - 13

概要 - 9

[簡易更新の無効化] 設定 - 57

[環境設定] ダイアログ ボックス

一般設定 - 57

概要 - 57

電子メール設定 - 61

プロキシ設定 - 62

更新の種類を選択 - 37

[更新を確認] ボタン - 48

コンポーネント

GUI - 12

Patch Manager Services - 12

さ

サーバの種類を選択 - 34

サイレント インストール - 33

自動ダウンロードおよびインストール設定 - 57

手動によるパッチのアンインストール - 73

手動によるパッチのインストール - 70

手動によるパッチのダウンロード - 66

[使用可能なパッチがあればダウンロード] 設定
- 57

[ステージング サーバ]設定 - 57
ステータス インジケータ - 48
[ステータス]メニュー - 48
[製品]メニュー - 48
[設定]メニュー - 48

レポートの生成 - 28
[レポート]メニュー - 48
ローカル インストール - 31

た

[ダウンロード]ボタン - 48
電子メール設定 - 61
電子メール通知 - 27
電子メール通知の種類を選択 - 39

は

パッチのアンインストール
 概要 - 26
 手動アンインストール - 73
パッチのインストール
 概要 - 23
 自動インストール - 76
 手動インストール - 70
パッチのインポート - 25
[パッチの更新]ペイン - 48
パッチの自動インストール - 76
パッチの自動ダウンロード - 76
パッチのダウンロード
 概要 - 20
 自動ダウンロード - 76
 手動ダウンロード - 66
プロキシ設定 - 62
[ヘルプ]メニュー - 48

ら

リモート インストール - 32
リモート インストールを実行するコンピュータの
 選択 - 42
利用可能なパッチの手動によるチェック - 64
利用可能なパッチのチェック
 概要 - 17
 スケジュールされたプロセス - 19
 ユーザ開始プロセス - 18
レスポンスファイル - 33